

学則の変更の趣旨等を記載した書類

1. 学則変更(収容定員変更)の内容

新潟大学医学部医学科の入学定員については、平成20年度に新医師確保総合対策に基づき臨時定員増が認められて以降、「地域枠」に係る増員が現在まで継続的に認められている。

最近では、令和元年度を期限として認められた22名の増員が令和3年度まで継続して認められ、また、令和3年度限りの5名増員が認められたことから、令和3年度の入学定員を127名とした（一般選抜80名、学校推薦型選抜「一般枠：20名、地域枠27名」）。令和4年度は、地域枠として33名の臨時定員増が認められたことから、入学定員を133名（一般選抜80名、学校推薦型選抜「一般枠：20名、地域枠33名」）とし、さらに令和5年度、令和6年度及び令和7年度においては、地域枠の上限となる40名の臨時定員増が認められたことから、入学定員を140名（一般選抜80名、学校推薦型選抜「一般枠：20名、地域枠40名」）とした。

令和8年度では、令和7年度と同様に地域枠として40名までの臨時定員増が認められたことから、入学定員を140名（一般選抜80名、学校推薦型選抜「一般枠：20名、地域枠40名」）に変更する。

これにあわせて、収容定員についても令和7年度までの期限を付した臨時の入学定員増を踏まえ、令和8年度限定の定員増を行わなかった場合の600名から640名に変更する。

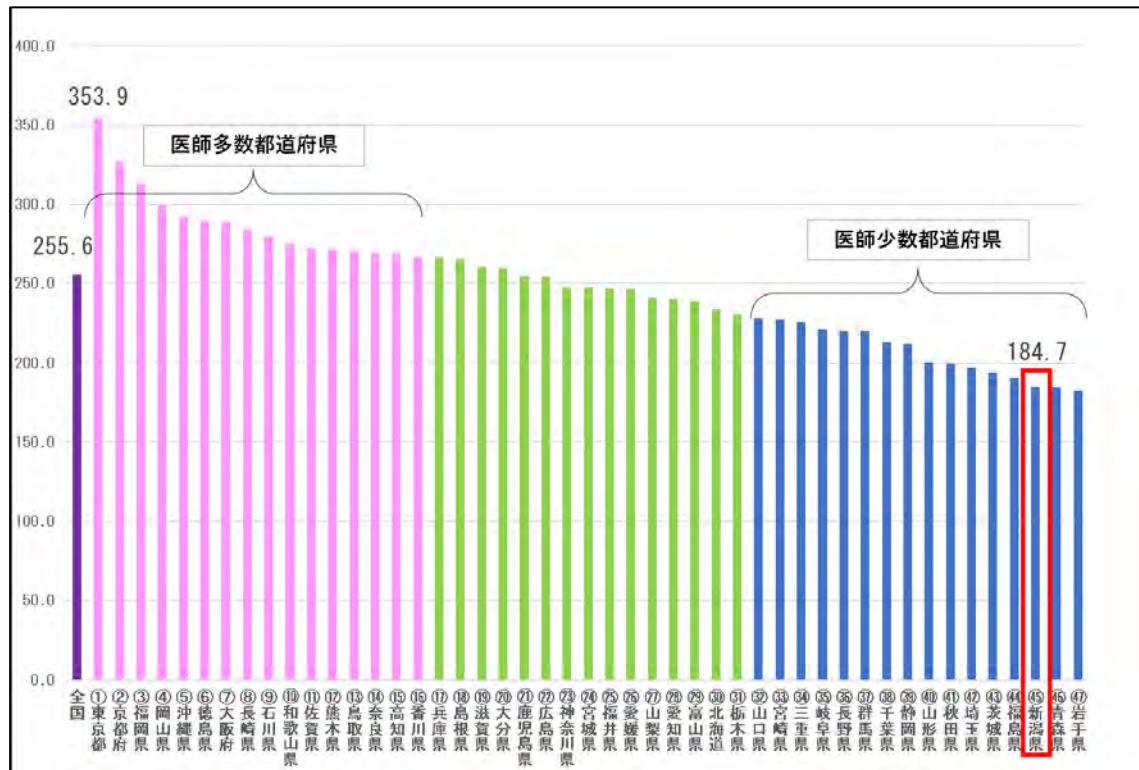
2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

近年の急速に進行する少子高齢化などに伴い、医療分野におけるニーズは日々、高度化・多様化している。新潟県は、県土が広大なうえ過疎や豪雪等の地理的特性を有することに加え、医師の都市部への集中に伴う地域的な偏在もあり、医師不足が深刻な問題となっている。

最新の新潟県の医師偏在指標については、表1（都道府県別医師偏在指標）のとおり、184.7（全国255.6）で、全国45位と最低レベルである。また、表2（必要医師数・医師確保の目標）のとおり、新潟県では2036年時点での必要医師数に対して、現在、1,500人以上の医師が不足している。

新潟大学医学部医学科では、教育目標の一つに「地域の医療に貢献するとともに、国際的に活躍できる人材の育成」を掲げており、地域の医師不足に係る切実な要請に応え、新潟県内の将来の医療を担うという強い意志をもった者を対象とした「地域枠」による入学定員増を行い、地域における医師の確保ならびに地域医療を担う医師の養成を推進し、深刻化著しい医師不足の解消に貢献するものである。

<表1>都道府県別医師偏在指標



新潟県「第2次新潟県医師確保計画 前期（令和6年3月）」より

<表2>必要医師数・医師確保の目標

(単位：人)

医師数	新潟県	二次医療圏						
		下越	新潟	県央	中越	魚沼	上越	佐渡
必要医師数 (R18(2036)) (a)	6,137	530	2,681	455	1,246	421	695	127
標準化医師数 (現在) (b)	4,494	350	2,290	271	791	237	466	89
差 (a - b)	1,643	180	391	184	455	184	229	38

新潟県「第2次新潟県医師確保計画 前期（令和6年3月）」より

3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

(1) 入学定員変更に係る入学者選抜

本増員は、新潟大学医学部医学科学校推薦型選抜「地域枠」によるものとし、出願要件は、新潟県を含む全国の高等学校出身で、新潟県内で将来の医療を担うという強い意志を有し、新潟県が設定する修学資金を受給するとともに、新潟県が指定する医療機関に一定期間勤務することを確約できる者とする。

また、「一般枠」と「地域枠」のそれぞれに募集人員を設けることにより入学試験の段階で地域枠希望者を区別して選抜を行うこととする。

(2) 教育課程等の変更内容

令和8年度限定の定員増を行うものであるため、教育課程等については特段の変更はなく、次表にあるとおり、「地域医療」に関する授業及び実習を実施し、6年間を通じて継続的かつ体系的に教育を行っている。

また、医学部医学科専門科目に関する授業科目については全て必修としており、「地域枠」で入学する学生とそれ以外の学生との区別は行っていない。

なお、「地域医療」に関する授業科目は次のとおりである。

学年	授業科目名	科目の概要
1年次	早期医学体験実習(EME)	医学学習の開始にあたり、医療の現場に接し、社会における医学の役割を学ぶ。
2年次	早期地域医療体験実習(EME)Ⅱ	介護・福祉系の職種の現場での実習を行い、総合的に患者・生活者を見る姿勢、多職種連携能力を涵養する。
3年次	早期地域医療体験実習(EME)Ⅲ	在宅医療系の職種の現場での実習を行い、総合的に患者・生活者を見る姿勢、多職種連携能力を涵養する。
4年次	臨床実習ⅠA	臨床実習ⅠA, B, Cの開講期間に、各臨床科目をローテーションして臨床実習を行う。実際の医療に接する場で、全人的医療を実践するために必要な各臨床科目の基本的知識、問題解決能力、技能および態度を修得する。 そのうち「地域医療」については、遠隔地（魚沼地域）で実習を行う。
5年次	臨床実習ⅠB	
5年次	臨床実習ⅠC	
5年次	臨床実習ⅡA	臨床実習ⅡA, Bの開講期間に、4週間を1クールとし、6クール（新潟大学医歯学総合病院3クール、医師不足地域にある村上総合病院、魚沼基幹病院、県立十日町病院、佐渡総合病院などを含む学外病院3クール）を各臨床科目で臨床実習を行う。主として、患者と接する医療現場において、医師として全人的医療を実践するために必要な、患者、医師、他職種医療スタッフとのコミュニケーション能力、身体診察法、臨床推論、問題解決、治療計画、プレゼンテーションなどの基本的臨床技能と態度を修得する。
6年次	臨床実習ⅡB	

4. その他、地域の医師確保の観点からの取組

- 新潟県地域医療支援センターとの連携

新潟県と連携し、平成29年度に本学医学部医学科内に「新潟県地域医療支援センター医学科分室」を設置し、専任の教員、事務職員を配置しキャリア形成支援、地域医療実習の企画・運営等を行っている。

- 地域医療確保・地域医療課題解決支援講座（寄附講座）との連携

地域枠拡大等による地域医療に従事する医師の養成・確保や新潟大学医学生の県内定着率の向上を図るとともに、総合的な診療能力を持つ医師、感染症に対応できる医師の養成・確保等に取り組むことにより、新潟県の地域医療の確保及び地域医療の課題解決に寄与することを目的として令和4年度に設置された「地域医療確保・地域医療課題解決支援講座」（寄附講座）と連携することにより、専任の教員が地域医療の現場で年間を通して地域医療学の講義や地域臨床実習の指導を行っている。

- 新潟大学医学部医学科体験講座の開催

新潟県教育委員会と連携し、平成22年度より、医学科への進学を真剣に考えている新潟県内の高校生に特化した「新潟大学医学部医学科体験講座」を開催し、地域枠への進学も含めた医学科への進学を促し、積極的な学生確保に努めている。

- 新潟県地域医療夏季実習の実施

新潟県では昭和60年頃より夏季休暇の間に新潟県出身の自治医科大学生を対象とした新潟県地域医療夏季実習を継続して開催している。以降、新潟県が独自に実施している県費修学生や新潟大学地域枠学生を加え、平成30年度からは新潟県の地域医療に关心を持つすべての医学生を対象としている。これは、地域医療の現状や重要性について学習し学生同士が交流する好機となっており、卒後新潟県内で共に活動することになる仲間作りや共通意識の醸成に寄与している。

- キャリアパス説明会の開催

新潟県と連携し、平成29年度より地域枠医学生等を対象にキャリアパス説明会を開催している。新潟県からの説明はもちろん、各科の教授・総括医長から地域枠卒業生に特化したプログラムや、地域枠卒業生に対する考え方などを説明してもらい、双方向で意見交換することにより、より良いキャリアパスを提示できるよう努めている。

また、地域枠により入学した学生以外の学生も含む全学生を対象に、学年別にキャリアパス説明会を開催しており、学生が自身のキャリアについて考える機会を設けている。

- 新医学セミナー等の開催

新潟県医師会や新潟県福祉保健部と連携し、平成29年度より、地域枠学生のみならず、新潟県の医療に关心を持つすべての医学生を対象に「新潟の医療を学ぼうセミナー」（新医学セミナー）を開催している。「地域医療」はもちろんのこと、「災害医療」や「新型コロナウイルス感染症」「小児医療」「救急医療」「緩和医療」等をテーマに講演会やワークショップを開催している。

教育課程等の概要															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育に関する授業科目	医学入門	1③④	○	2			○		○	3	1	2			オムニバス
	早期医学体験実習(EME)	1②	○	1			○		○	3	2	1			※実習
	人体の構造と機能I	2前	○	13.5			○		※	6	6	5			※実習
	生理学実習	2前	○	2			○		○	2	3	1			※実習
	人体の構造と機能II	2後	○	10			○		※	8	4	1	5		
	臨床基礎医学I	2後	○	1.5			○			5	1	1			
	社会医学I	2後	○	2			○			1	1			1	
	研究室配属見学	2後	○	1			○			1					
	早期地域医療体験実習(EME)II	2①~④	○	1			○		○	1	1				
	倫理観と人間性I	2①~④	○	0.5			○			4	1		1		
	基礎臨床統合	2①~④	○	0.5			○			5	2	2			
	薬物による生体調節	3前	○	2			○			1	1	1			
	アドバンス基礎医学	3後	○	1.5			○			3	1	1	2		
	早期地域医療体験実習(EME)III	3前	○	1			○		○	1	1				
	病理総論	3前	○	3			○		※	3					※実習
	生体防御と感染(細菌学)	3前	○	3			○		※	1		1	1		※実習
	生体防御と感染(免疫学)	3前	○	2.5			○		※	1		2			※実習
	生体防御と感染(ウイルス学)	3前	○	2			○		※	1	1	1			※実習
	生体防御と感染(医動物学)	3前	○	1			○			1		1			
	生体防御と感染(総合)	3前	○	1.5			○			2		3		1	
	医学情報学(応用)	4前	○	0.5			○								
	環境医学	3前	○	1.5			○		※	1	1				※実習
	法医学	4前	○	2			○			1		3			
	公衆衛生学	4前	○	2			○		※	2	1	1			※実習
	医学英語I	2①~④	○	0.5			○			2	1	1			※演習
	医学英語II	4後	○	0.5			○		※	1		1			※演習
	統合臨床医学	3前	○	4			○		○	9	7	6	5		オムニバス
	臨床実習入門(CBT)	4後	○	2			○		○	3	1				※演習
	臨床実習入門(OSCE)	4後	○	4			○		○	5	11	17	14		
	臓器別講義・演習I	3後	○	15			○		※	8	14	10	14		オムニバス
	臓器別講義・演習II	4前	○	18			○		※	11	12	19	13		※演習
	臓器別講義・演習III	4後	○	7			○		※	6	5	7	8		オムニバス
	多職種連携	4前	○	0.5			○		※	1	1	1			※演習
	臨床実習IA	4後	○	7			○		○	25	19	18	14		
	臨床実習IB	5前	○	15			○		○	25	19	18	14		
	臨床実習IC	5後	○	15			○		○	25	19	18	14		
	臨床実習IIA	5後	○	7			○		○	25	19	18	13		
	臨床実習IIB	6前	○	15			○		○	25	19	18	13		
	臨床医学講義(集中)	6後	○	7			○			21	5	1	1		オムニバス
	医学研究実習	3後	○	7			○		○	40	24	17	28		
	ミャンマー夏期医学短期研修	4前	○	1			○		○	1					
	小計(41科目)	—	—	183	1	0	—	—	44	41	35	54	0	1	
教養教育に関する授業科目	英語	IELTS Preparation I	1.2.3.4①~②③~④				2		○						1
		IELTS Preparation II	1.2.3.4①~②③~④				2		○						1
		iStep Academic Reading	1.2②				0.5		○						1
		iStep Academic Writing	1.2②				0.5		○						1
		iStep Extension: Academic Listening & Speaking	1.2③~④				2		○						2
		iStep Extension: Academic Reading	1.2③~④				2		○						1
		iStep Extension: Academic Writing	1.2③~④				2		○						1
		iStep Extension: Basic Pronunciation	1.2③~④				2		○						1
		iStep Extension: Presentation	1.2③~④				2		○						1
		iStep Listening and Speaking	1.2②				0.5		○						1
		iStep Presentations	1.2②				0.5		○						1
		TOEFL iBT Preparation I	1.2.3.4①~②③~④				2		○						2
		TOEFL iBT Preparation II	1.2.3.4①~②③~④				2		○						2
		アカデミック英語入門L	1①~②③~④				1		○						14
		アカデミック英語入門R	1①~②③~④				1		○						25
		実践コミュニケーション英語I	1①~②				1		○						5
		実践コミュニケーション英語II	1③~④				1		○						5
		上級EAP(Listening & Speaking)	2.3.4①~②③~④				2		○						1
		上級EAP(Reading)	2.3.4①~②③~④				2		○						1
		上級EAP(Writing)	2.3.4①~②③~④				2		○						1
		上級コミュニケーション英語	1.2.3.4①~②③~④				2		○						6 メディア

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数		授業形態			基幹教員等の配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育に関する授業科目	英語	中級コミュニケーション英語	1.2.3.4①～②③～④		2			○								10
		中級CALL(留学準備)	1.2.3.4①～②③～④		2			○								1
		中級EAP(Listening & Speaking)	2.3.4①～②③～④		2			○								3
		中級EAP(Writing)	2.3.4①③④③～④		2			○								2
		中級EAP(Writing: Term Course)	2.3.4②		1			○								1
		中級EAP(Reading: Term Course)	2.3.4①		1			○								1
		中級EAP(Listening & Speaking: Term Course)	2.3.4①②		1			○								1
		中級EAP(Reading)	2.3.4①～②③～④		2			○								2
		iStep Extension: Oral Communication	1.2③～④		2			○								1
		医療英語(看護)	2.①～②		2			○								4
		医療英語(検査)	4①～②		2			○								14
		医療英語(放射)	4①～②		2			○								12
		英語表現セミナーA	2.3.4①～②③～④		2			○								1
		英語表現セミナーB	2.3.4①～②③～④		2			○								1
		英語表現セミナーC	2.3.4①～②③～④		2			○								1
		実践英語セミナー	2.3.4①～②③～④		2			○								1
		医療英語ベーシック(放射)	1③～④		2			○								7
		P.A.C.E.(Academic Listening & Speaking)	1.2.3.4①		0.5			○								2
		P.A.C.E.(Academic Reading I)	1.2.3.4①		0.5			○								2
		P.A.C.E.(Academic Writing I)	1.2.3.4①		0.5			○								2
		P.A.C.E.(Oral Communication)	1.2.3.4①		0.5			○								2
		P.A.C.E.(Academic Writing II)	1.2.3.4②		0.5			○								2
		P.A.C.E.(Academic Reading II)	1.2.3.4②		0.5			○								2
		P.A.C.E.(Research Writing)	1.2.3.4③～④		1			○								2
		P.A.C.E.(Academic Communication Skills)	1.2.3.4③～④		1			○								1
		P.A.C.E.(Presentation Skills)	1.2.3.4③～④		1			○								1
		小計(47科目)	—		0	69	0	—			0	0	0	0	0	75
初修外国語		西洋古典文芸A	1.2.3.4①		1			○								1
		西洋古典文芸B	1.2.3.4②		1			○								1
		スペイン語圏グローバル理解1(メキシコの文化とスペイン語入門)	1.2.3.4①②		1			○								1
		スペイン語圏グローバル理解2(ラテンアメリカの文化・生活と言語)	1.2.3.4①②		1			○								1
		中国語圏グローバル理解1(日中韓比較文化)	1.2.3.4①②		1			○								1
		中国語圏グローバル理解2(映像で探る中国文化)	1.2.3.4①②		1			○								1
		中国語圏グローバル理解3(多民族国家中国)	1.2.3.4①②		1			○								1
		中国語圏グローバル理解4(漢文と中国語)	1.2.3.4③④		1			○								1
		中国語圏グローバル理解5(中国の生活と経済)	1.2.3.4①②		1			○								1
		中国語圏グローバル理解6(中国滞在事情)	1.2.3.4①②		1			○								1
		中国語圏グローバル理解7(エリヤスタディーズ北京)	1.2.3.4①②		1			○								1
		中国語圏グローバル理解8(エリヤスタディーズ上海)	1.2.3.4①②		1			○								1
		中国語圏グローバル理解9(エリヤスタディーズ東北)	1.2.3.4①②		1			○								1
		中国語圏グローバル理解10(中国語の基礎知識)	1.2.3.4①②		1			○								1
		中国語圏グローバル理解11(中国語の基礎知識)	1.2.3.4①②		1			○								1
		中国語圏グローバル理解12(中国語の基礎知識)	1.2.3.4③④		1			○								1
		ドイツ語圏グローバル理解1(ドイツ学入門)	1.2.3.4①②		1			○								1
		ドイツ語圏グローバル理解2(ドイツ語文化圏研究入門)	1.2.3.4①②		1			○								1
		ドイツ語圏グローバル理解3(ドイツ語圏で暮らしてみれば)	1.2.3.4①②		1			○								1
		ドイツ語圏グローバル理解4(東西ドイツの分断と統一って?)	1.2.3.4①②		1			○								1
		ドイツ語圏グローバル理解5(映像で見る日独文化比較)	1.2.3.4①②		1			○								1
		ドイツ語圏グローバル理解6(声に出すドイツ語)	1.2.3.4①②		1			○								2
		フィリピン語圏グローバル理解1	1.2.3.4①②		1			○								1
		フランス語圏グローバル理解1(フランスの文化と社会)	1.2.3.4①②		1			○								1
		フランス語圏グローバル理解2(フランス語圏の世界を発見しよう)	1.2.3.4①②		1			○								1
		フランス語圏グローバル理解3(フランス言語技術入門)	1.2.3.4①②		1			○								1
		ロシア語圏グローバル理解1	1.2.3.4①②		1			○								1
		古代ローマ帝国ラテン語	1.2.3.4①		1			○								1
		古典古代ギリシア語	1.2.3.4②		1			○								1
		イタリア語圏グローバル理解1	1.2.3.4①②		1			○								1
		朝鮮語圏グローバル理解1	1.2.3.4①②		1			○								1

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数		授業形態			基幹教員等の配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育に関する授業科目	初修外国語	朝鮮語圏グローバル理解 2	1.2.3.4①②		1		○									1 メディア
		コミュニケーション・ドイツ語A	1.2.3.4①～②		2		○									1
		コミュニケーション・ドイツ語B	1.2.3.4①～②		2		○									1
		コミュニケーション・ドイツ語C	1.2.3.4①～②		2		○									1
		ドイツ語セミナーA	1.2.3.4①～②		2		○									1
		コミュニケーション・ドイツ語D	1.2.3.4③～④		2		○									1
		コミュニケーション・ドイツ語E	1.2.3.4③～④		2		○									1
		コミュニケーション・ドイツ語F	1.2.3.4③～④		2		○									1
		ドイツ語インテンシブ IA	1.2.3.4①		2		○									3 オムニバス
		ドイツ語インテンシブ IB	1.2.3.4②		2		○									3 オムニバス
		ドイツ語インテンシブ II	1.2.3.4③～④		4		○									3 オムニバス
		ドイツ語エッセンシャル A	1.2.3.4③～④		2		○									2
		ドイツ語エッセンシャル B	1.2.3.4③～④		1		○									2
		ドイツ語スタンダード IA	1.2.3.4①		1.5		○									5 オムニバス
		ドイツ語スタンダード IB	1.2.3.4②		1.5		○									5 オムニバス
		ドイツ語スタンダード II	1.2.3.4③～④		3		○									5 オムニバス
		ドイツ語セミナーB	1.2.3.4①～②		2		○									1
		ドイツ語セミナーC	1.2.3.4③～④		2		○									1
		ドイツ語セミナーD	1.2.3.4③～④		2		○									1
		コミュニケーション・フランス語B	1.2.3.4①～②		2		○									1 メディア
		コミュニケーション・フランス語C	1.2.3.4①～②		2		○									1
		コミュニケーション・フランス語D	1.2.3.4①～②		2		○									1
		コミュニケーション・フランス語E	1.2.3.4①～②		2		○									1
		コミュニケーション・フランス語G	1.2.3.4③～④		2		○									1
		コミュニケーション・フランス語H	1.2.3.4③～④		2		○									1 メディア
		コミュニケーション・フランス語 I	1.2.3.4①～②		2		○									1 メディア
		コミュニケーション・フランス語J	1.2.3.4①～②		2		○									1 メディア
		コミュニケーション・フランス語K	1.2.3.4③～④		2		○									1
		コミュニケーション・フランス語L	1.2.3.4③～④		2		○									1
		コミュニケーション・フランス語M	1.2.3.4①～②		2		○									1
		フランス学アクティブ	1.2.3.4③～④		2		○									1
		フランス語インテンシブ IA	1.2.3.4①		2		○									3 オムニバス
		フランス語インテンシブ IB	1.2.3.4②		2		○									3 オムニバス
		フランス語インテンシブ II	1.2.3.4③～④		4		○									3 オムニバス
		フランス語エッセンシャル A	1.2.3.4③～④		2		○									2 オムニバス
		フランス語エッセンシャル B	1.2.3.4③～④		1		○									2
		フランス語スタンダード IA	1.2.3.4①		1.5		○									5 オムニバス
		フランス語スタンダード IB	1.2.3.4②		1.5		○									5 オムニバス
		フランス語スタンダード II	1.2.3.4③～④		3		○									5 オムニバス
		フランス語セミナーA	1.2.3.4①～②		2		○									1 メディア
		フランス語セミナーB	1.2.3.4③～④		2		○									1 メディア
		コミュニケーション・ロシア語A	1.2.3.4①～②		2		○									1
		コミュニケーション・ロシア語B	1.2.3.4①～②		2		○									1
		コミュニケーション・ロシア語C	1.2.3.4③～④		2		○									1
		ロシア語エッセンシャル A	1.2.3.4③～④		2		○									2 オムニバス
		ロシア語エッセンシャル B	1.2.3.4④		1		○									1 メディア, 標準外
		ロシア語インテンシブ IA	1.2.3.4①		2		○									2 オムニバス
		ロシア語インテンシブ IB	1.2.3.4②		2		○									2 オムニバス
		ロシア語インテンシブ II	1.2.3.4③～④		4		○									2 オムニバス
		ロシア語スタンダード IA	1.2.3.4①		1.5		○									2 オムニバス
		ロシア語スタンダード IB	1.2.3.4②		1.5		○									2 オムニバス
		ロシア語スタンダード II	1.2.3.4③～④		3		○									2 オムニバス
		ロシア語セミナーA	1.2.3.4①～②		2		○									2 オムニバス
		ロシア語セミナーB	1.2.3.4③～④		2		○									1 メディア
		ロシア語ベーシックプラスA	1.2.3.4①～②		2		○									1 メディア
		コミュニケーション・中国語A	1.2.3.4①～②		2		○									1 メディア
		コミュニケーション・中国語B	1.2.3.4①～②		2		○									1 メディア
		コミュニケーション・中国語C	1.2.3.4①～②		2		○									1 メディア
		コミュニケーション・中国語D	1.2.3.4③～④		2		○									1 メディア
		コミュニケーション・中国語E	1.2.3.4③～④		2		○									1 メディア
		コミュニケーション・中国語F	1.2.3.4③～④		2		○									1 メディア
		コミュニケーション・中国語J	1.2.3.4①～②		2		○									1 メディア
		コミュニケーション・中国語K	1.2.3.4③～④		2		○									1 メディア
		コミュニケーション・中国語M	1.2.3.4①～②		2		○									1 メディア
		中国語エッセンシャル A (発音・文法)	1.2.3.4③～④		2		○									4
		中国語エッセンシャル B (練習・会話)	1.2.3.4③～④		1		○									1
		上海語演習	1.2.3.4③～④		2		○									1
		中国語インテンシブ IA	1.2.3.4①		2		○									6 オムニバス
		中国語インテンシブ IB	1.2.3.4②		2		○									6 オムニバス
		中国語インテンシブ II	1.2.3.4③～④		4		○									6 オムニバス
		中国語スタンダード IA	1.2.3.4①		1.5		○									11 メディア, オムニバス
		中国語スタンダード IB	1.2.3.4②		1.5		○									11 メディア, オムニバス
		中国語スタンダード II	1.2.3.4③～④		3		○									11 メディア, オムニバス
		中国語セミナーA	1.2.3.4①～②		2		○									1 隔年
		中国語セミナーB	1.2.3.4①～②		2		○									1 隔年

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数		授業形態			基幹教員等の配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育に関する授業科目	初修外国語	中国語セミナーC	1.2.3.4③～④		2			○								1 隔年
		中国語セミナーD	1.2.3.4③～④		2			○								1 隔年
		中国語セミナーP	1.2.3.4③～④		2			○								1 隔年
		中国語セミナーR	1.2.3.4①～②		2			○								1 隔年
		中国語セミナーE	1.2.3.4①～②		2			○								1 隔年
		中国語セミナーF	1.2.3.4①～②		2			○								1 隔年
		中国語セミナーG	1.2.3.4③～④		2			○								1 隔年
		中国語セミナーH	1.2.3.4③～④		2			○								1 隔年
		中国語セミナーN	1.2.3.4③～④		2			○								1 隔年
		中国語セミナーQ	1.2.3.4①～②		2			○								1 隔年
		コミュニケーション・朝鮮語A	1.2.3.4①～②		2			○								1 メディア
		コミュニケーション・朝鮮語B	1.2.3.4①～②		2			○								1 メディア
		コミュニケーション・朝鮮語C	1.2.3.4①～②		2			○								1 メディア
		コミュニケーション・朝鮮語D	1.2.3.4①～②		2			○								1 メディア
		コミュニケーション・朝鮮語E	1.2.3.4③～④		2			○								1 メディア
		コミュニケーション・朝鮮語H	1.2.3.4①～②		2			○								1 メディア
		コミュニケーション・朝鮮語I	1.2.3.4①～②		2			○								1 メディア
		コミュニケーション・朝鮮語J	1.2.3.4①～②		2			○								1 メディア
		コミュニケーション・朝鮮語K	1.2.3.4①～②		2			○								1 メディア
		コミュニケーション・朝鮮語L	1.2.3.4③～④		2			○								1 メディア
		コミュニケーション・朝鮮語X	1.2.3.4③～④		2			○								1
		朝鮮語インテンシブ IA	1.2.3.4①		2			○								2 オムニバス
		朝鮮語インテンシブ IB	1.2.3.4②		2			○								2 オムニバス
		朝鮮語インテンシブ II	1.2.3.4③～④		4			○								3 オムニバス
		朝鮮語エッセンシャル A	1.2.3.4③～④		2			○								1
		朝鮮語エッセンシャル B	1.2.3.4③～④		1			○								1
		朝鮮語スタンダード IA	1.2.3.4①		1.5			○								2 メディア
		朝鮮語スタンダード IB	1.2.3.4②		1.5			○								2 メディア
		朝鮮語スタンダード II	1.2.3.4③～④		3			○								2 メディア
		朝鮮語セミナーA	1.2.3.4①～②		2			○								1 メディア
		朝鮮語セミナーB	1.2.3.4③～④		2			○								1 メディア
		朝鮮語セミナーC	1.2.3.4①～②		2			○								1 メディア
		朝鮮語セミナーD	1.2.3.4③～④		2			○								1 メディア
		コミュニケーション・スペイン語A	1.2.3.4①～②		2			○								1
		コミュニケーション・スペイン語B	1.2.3.4③～④		2			○								1
		コミュニケーション・スペイン語C	1.2.3.4③～④		2			○								1
		スペイン語エッセンシャル A	1.2.3.4③～④		2			○								2
		スペイン語エッセンシャル B	1.2.3.4③～④		1			○								1
		スペイン語スタンダード IA	1.2.3.4①		1.5			○								2
		スペイン語スタンダード IB	1.2.3.4②		1.5			○								2
		スペイン語スタンダード II	1.2.3.4③～④		3			○								2
		スペイン語スタンダード III	1.2.3.4①～②		1			○								1
		スペイン語スタンダード IV	1.2.3.4③～④		1			○								1
		スペイン語セミナーA	1.2.3.4①～②		2			○								1 隔年
		スペイン語セミナーB	1.2.3.4①～②		2			○								1 隔年
		イタリア語スタンダード III	2①～②		1			○								1 メディア
		イタリア語スタンダード IV	2③～④		1			○								1 メディア
		コミュニケーション・イタリア語A	2.3.4①～②		2			○								1 メディア
		コミュニケーション・イタリア語B	2.3.4③～④		2			○								1 メディア
		古代エジプト神聖文字文A	1.2.3.4③		1			○								1 メディア
		古代エジプト神聖文字文B	1.2.3.4④		1			○								1 メディア
		フィリピノ語エッセンシャル A	1.2.3.4③～④		2			○								1 メディア
		フィリピノ語エッセンシャル B	1.2.3.4③～④		1			○								1
		小計(159科目)	—		0	283	0	—	0	0	0	0	0	0	55	
健康・スポーツ		健康スポーツ科学実習 Ia	1.2.3.4①					○							2	
		健康スポーツ科学実習 Ib	1.2.3.4②					○							2	
		健康スポーツ科学実習 I	1.2.3.4①～②③～④					○							16	
		健康スポーツ科学実習 II (ゴルフ)	1.2.3.4①～②					○							3 オムニバス	
		健康スポーツ科学実習 II (スキー I)	1.2.3.4③～④					○							7 オムニバス	
		健康スポーツ科学実習 II (スキー II)	1.2.3.4③～④					○							8 オムニバス	
		健康スポーツ科学実習 II (ソフトボール)	1.2.3.4①～②					○							8	
		健康スポーツ科学実習 II (トレーニング)	1.2.3.4③～④					○							1	
		健康スポーツ科学実習 II (剣道)	1.2.3.4③～④					○							1	
		健康スポーツ科学実習 II (卓球 I)	1.2.3.4③～④					○							1	
		健康スポーツ科学実習 II (卓球 II)	1.2.3.4③～④					○							1	
		健康スポーツ科学実習 II (野外活動)	1.2.3.4③～④					○							1 標準外	
		健康スポーツ科学講義a	1.2.3.4①③					○							4	
		健康スポーツ科学講義b	1.2.3.4②④					○							4	
		健康スポーツ科学講義	1.2.3.4①～②③～④					○							2	
		小計(15科目)	—		—	0	15	0	—	0	0	0	0	0	28	

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数		授業形態			基幹教員等の配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育に関する授業科目	情報リテラシー	エンジニアのためのデータサイエンス入門（力学分野）	1①				2	○	※						10	※演習、オムニバス
		エンジニアのためのデータサイエンス入門（化学材料分野）	1①				2	○	※						7	
		エンジニアのためのデータサイエンス入門（建築分野）	1②				2	○	※						2	※演習、オムニバス
		エンジニアのためのデータサイエンス入門（情報電子分野）	1②				2	○	○						2	
		エンジニアのためのデータサイエンス入門（融合領域分野）	1①				2	○	○						2	
		人工知能入門	1.2①～②				2	○	○						6	オムニバス
		データサイエンス・インターナシップ	3.4①～②				6		○						7	標準外
		データサイエンス・インターナシップ（事前・事後指導）	3.4①～②				2		○						3	標準外
		データサイエンス基礎演習	1.2.3.4①②③④				2		○						2	
		データサイエンス総論Ⅰ	1.2.3.4①③				1	○	○						1	
		データサイエンス総論Ⅱ	1.2②④				1	○	○						1	
		データサイエンス発表	3.4③～④				2		○						2	標準外
		情報リテラシー概論	1.2.3.4①				2	○	○						6	オムニバス
		情報リテラシー	1①～②				2		○						1	
		情報処理概論AⅠ	1.2.3.4①～②				2	○	○						1	
		情報処理概論AⅡ	1.2.3.4③～④				2	○	○						1	
		サイバーセキュリティと情報倫理	1.2.3.4①				2	○	○						1	
		小計（17科目）	—	—	0	36	0	—	—	—	0	0	0	0	0	45
新潟大学個性化科目	新潟大学個性化科目	食と健康の科学	1④				2	○	○	※					14	メディア、オムニバス
		地域を探る	1.2.3.4③～④				2	○	○						13	オムニバス
		土と水	1④				2	○	○	※					14	オムニバス
		新潟産業フィールドワーク	1.2.3.4①～②				4	○	○						2	※実習、オムニバス、標準外
		新潟の農林業	1③				2	○	○						12	メディア、オムニバス
		日本酒学A	1.2.3.4①～②				2	○	○						4	オムニバス
		日本酒学B	3.4①～④				1	○	○						6	オムニバス、標準外
		日本酒学C	1.2.3.4②				1	○	○						5	メディア、オムニバス
		日本酒学D	1.2.3.4④				2	○	○						1	標準外
		SDGs入門	1.2.3.4③～④				2	○	○						4	オムニバス
		SDGs入門演習	1.2.3.4①～②				2	○	○						1	メディア
		キャリアデザイン	1.2.3.4①～②				2	○	○						3	オムニバス
		近世越後諸地域の歴史と社会	1.2.3.4③～④				2	○	○	※					5	オムニバス
		地方小都市の未来創造-市民と学生による地域づくりの実践	1.2.3.4①～④				4		○	※					2	※実習、オムニバス、標準外
		地域共創特別演習（三条）	1.2.3.4①～④				2		○	※					4	※実習、オムニバス、標準外
		学校支援フィールドワークA（小学校）	1.2.3.4①～②				2		○	○					1	標準外
		学校支援フィールドワークA（中学校）	1.2.3.4①～②				2		○	○					1	標準外
		学校支援フィールドワークA（高等学校）	1.2.3.4①～②				2		○	○					1	標準外
		学校支援フィールドワークB（小学校）	1.2.3.4①～②				4		○	○					1	標準外
		学校支援フィールドワークB（中学校）	1.2.3.4①～②				4		○	○					1	標準外
		コミュニケーション・インナーシップ実践	2.3.4①～④				4		○	※					1	※実習、標準外
		生涯学習社会とメディア	1.2.3.4③				2	○	○	※					1	※実習、オムニバス
		地域文化遺産継承論	1.2.3.4①～②				2	○	○	※					6	※実習、オムニバス
		私のローカルキャリア論 一地域とかかわる多様な働きかた・暮らしかたー	1.2.3.4③				2	○	○	※					1	※演習、メディア
		授業フィールドワーク	1.2.3.4①～②				2		○	○					1	標準外
		生まれ変わる地方小都市一人とまちの未来図を描くー	1.2.3.4①				2		○	○					2	メディア、オムニバス
		地域共創特別演習(岩室)	1.2.3.4①～④				2		※	○	※				3	※講義・実習、オムニバス、標準外
		地域共創特別演習ⅠA（刈羽＆東京）	1.2.3.4①～②				2		※	○	※				3	※講義・実習、標準外
		地域共創特別演習ⅠB（刈羽＆東京）	1.2.3.4③～④				2		※	○	※				3	※講義・実習、標準外
		ダブルホーム活動入門Ⅰ	1①				1		○	※					3	※講義・実習、標準外
		ダブルホーム活動入門Ⅱ	1②				1		○	○					3	※講義・実習、標準外
		地域共創演習Ⅰa	1.2.3.4①～④				1		※	○	※				4	※講義・実習、オムニバス、標準外
		地域共創演習Ⅰb	1.2.3.4①～④				1		○	○	※				2	※実習、オムニバス、標準外
		地域共創演習Ⅱa	1.2.3.4①～④				1		※	○	※				4	※実習、オムニバス、標準外
		地域共創演習Ⅱb	1.2.3.4①～④				1		※	○	※				4	※講義・実習、メディア、オムニバス、標準外
		コミュニケーション開発論Ⅰ	2.3.4①～②				2		○	○					3	オムニバス
		コミュニケーション開発論Ⅱ	2.3.4③～④				2		○	○					3	オムニバス
		ボランティア開発論Ⅰ	1.2.3.4①～②				2		○	○					3	オムニバス
		ボランティア開発論Ⅱ	1.2.3.4③～④				2		○	○					3	オムニバス
		現場訪問とデータから読み解く新潟の今ー新潟地域産業の可能性を探るーI	1.2.3.4①～②				2		○	○	※				1	※実習、標準外
		現場訪問とデータから読み解く新潟の今ー新潟地域産業の可能性を探るーII	1.2.3.4③～④				2		○	○	※				1	※実習、標準外
		地域共創演習Ⅲa	1.2.3.4①～②				1		※	○	※				5	※講義・実習、オムニバス
		地域共創演習Ⅲb	1.2.3.4③～④				1		※	○	※				5	※講義・実習、オムニバス
		地域から文化を考える	1.2.3.4①～②				2		○	○	※				5	※実習、オムニバス
		ユーザのための数学I	1.2②				2		○	○					1	
		教員志望者のための日本語教育入門 A	1.2.3.4①				1		○	○					1	
		教員志望者のための日本語教育入門 B	1.2.3.4②				1		○	○					1	

科目区分	授業科目的名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹(助教員以外の)教員
教養教育に関する授業科目	教員志望者のための日本語教育入門 C	1.2.3.4③	C	1			○								1
	教員志望者のための日本語教育入門 D	1.2.3.4④		1			○								1
	分野横断デザイン	1.2①②③④		1			○								4 ※演習
	オタゴ大学英語研修	1.2.3.4①～②		4			○								1 標準外
	オックスフォード大学英語研修	1.2.3.4③～④		2			○								1 標準外
	カナダ・サマーセミナー	1.2.3.4①～②		4			○								1 標準外
	国際交流	1.2.3.4③～④		2			○								1 標準外
	新潟の企業の魅力を探る	1.2.3①～②③～④		1			○			○					1 標準外
	分野横断フレクション	3.4①②③④		1			○			○					4 ※演習, 標準外
	ピアサポート入門	1.2.3.4③～④		2			○			○					2 ※演習, オムニバス
	学生がデザインする働き方の未来ー人生100年時代のワークスタイルを創造するー	1.2.3.4②～③		2			○			○					2 ※演習, オムニバス
	税のしくみから社会を考える	1.2.3.4②		2			○			○					7 オムニバス
	1・2年生対象 長期・企業実践型プログラム I	1.2②		2			○			○					2 オムニバス
	1・2年生対象 長期・企業実践型プログラム I (集中・短縮版)	1.2①～②		1			○			○					2 オムニバス, 標準外
	1・2年生対象 長期・企業実践型プログラム II	1.2①～②		4			○			○					2 オムニバス, 標準外
	1・2年生対象 長期・企業実践型プログラム II (短縮版)	1.2①～②		2			○			○					2 オムニバス, 標準外
	開発・環境と平和	1.2.3.4①～②		2			○			○					1 標準外
	佐渡自然共生国際実習	1.2.3.4①～④		2			○			○					6 オムニバス, 標準外
	佐渡学概論：佐渡島の自然と人々の営み	1.2.3.4④		2			○			○					4 オムニバス
	生命保険を考える	1.2.3.4①～②		2			○			○					1
	トキをシンボルとした自然再生	1.2.3.4③		2			○			○					6 オムニバス
	フィリピンALLC英語研修	1.2.3.4③～④		4			○			○					1 標準外
	平和と現代のグローバル安全保障論	1.2.3.4①～②		2			○			○					1 標準外
	リーダーシップ演習 I	④		1			○			○					3 オムニバス, 標準外
	リーダーシップ演習 II 1	2①		1			○			○					3 オムニバス, 標準外
	リーダーシップ演習 II 2	2②		1			○			○					3 オムニバス, 標準外
	リーダーシップ演習 II 3	2③		1			○			○					3 オムニバス, 標準外
	リーダーシップ演習 II 4	2④		1			○			○					3 オムニバス, 標準外
	リーダーシップ演習 III 1	3①		1			○			○					3 オムニバス, 標準外
	リーダーシップ演習 III 2	3②		1			○			○					3 オムニバス, 標準外
	中国留学準備講座 サマーセミナー中國入門	1.2.3.4②		1			○			○					1
	国際共修：グローバル社会におけるビジネス・コミュニケーションA	1.2.3.4①～②		2			○			○					1
	国際共修：グローバル社会におけるビジネス・コミュニケーションB	1.2.3.4③～④		2			○			○					1
	国際共修：留学生との協働学習を通じた異文化理解A	1.2.3.4①～②		2			○			○					1
	国際共修：留学生との協働学習を通じた異文化理解B	1.2.3.4③～④		2			○			○					1
	大学生活戦略論 ～キャンパス内外を「越境」する学び・経験～	1.2④		2			○			○					1
	アクティブラーニングA	1.2.3.4①②③④		1			○			○					1
	アクティブラーニングB	1.2.3.4②④		1			○			○					1
	アクティブラーニングC	1.2.3.4①②③④		1			○			○					1
	オンライン国際共修型プロジェクトワーク	1.2.3.4①～②		1			○			○					5 ※演習, メディア, オムニバス
	現代社会と差別	1.2.3.4③～④		2			○			○					1 ※演習
	障がい学生支援概論	1.2.3.4③～④		2			○			○					1 ※演習
	障がい学生支援法	1.2.3.4①～②		2			○			○					1 ※演習
	数学的思考法	1.2.3.4①		1			○			○					1
	ストレスマネジメント	1.2.3.4①～②		2			○			○					1 ※演習
	西洋カリグラフィーA	1.2.3.4③		1			○			○					1 メディア
	西洋カリグラフィーB	1.2.3.4④		1			○			○					1 メディア
	多文化間共修A1	1.2.3.4①③		1			○			○					1
	多文化間共修A2	1.2.3.4②④		1			○			○					1
	多文化間共修B1	1.2.3.4①③		1			○			○					1
	多文化間共修B2	1.2.3.4②④		1			○			○					1
	多文化間共修C1	1.2.3.4①③		1			○			○					2 メディア
	多文化間共修C2	1.2.3.4②④		1			○			○					2
	多文化間共修D1	1.2.3.4①③		1			○			○					1
	多文化間共修D2	1.2.3.4②④		1			○			○					1
	日本と外国人 A	1.2.3.4①		1			○			○					1 メディア
	日本と外国人 B	1.2.3.4②		1			○			○					1 メディア
	日本と外国人 C	1.2.3.4③		1			○			○					1 メディア
	日本と外国人 D	1.2.3.4④		1			○			○					1 メディア
	パーソナルファイナンス論	1.2.3.4①～②		2			○			○					1
	パフォーマンスの外国语	1.2.3.4①～②		2			○			○					1
	平和学概論	1.2.3.4③		2			○			○					1
	異文化と技術	1.2.3.4①～②		1			○			○					6 オムニバス, 標準外
	韓国サマースクール I	1.2.3.4①～②		2			○			○					1 標準外
	韓国サマーセミナー I	1.2.3.4①～②		2			○			○					1 標準外
	研究者の仕事と生活	1.2.3.4①～②		1			○			○					6 メディア, オムニバス, 標準外
	朱鷺・自然再生フィールドワーク	1.2.3.4①～②		1			○			○					2 オムニバス, 標準外

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数		授業形態			基幹教員等の配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育に関する授業科目	新潟大学個性化科目	森・里・海フィールド実習	1.2.3.4①～②		1					○						6 オムニバス、標準外
		西シドニー大学国際交流プログラムB	1.2.3.4①～②		2					○						1 標準外
		多文化共生社会体験 in AUSTRALIA-S	1.2.3.4③～④		4			○								1 標準外
		多文化共生社会体験 in AUSTRALIA-W	1.2.3.4①～②		4			○								1 標準外
		台湾スプリングセミナー I	1.2.3.4③～④		2			○								6 オムニバス、標準外
		台湾スプリングセミナー II	1.2.3.4③～④		2			○								6 オムニバス、標準外
		大学生のための役に立つ育児学	1.2.3.4①～②		1			○								7 オムニバス、標準外
		地域災害環境システム学入門	1.2.3.4②		1			○								5 オムニバス
		地域災害環境システム学演習	1.2.3.4③		1			○								6 オムニバス
		地理情報システム（G I S）概論・演習	1.2.3.4①～②		2			○								3 オムニバス、標準外
		地理情報システム（G I S）概論・応用演習	1.2.3.4③～④		2			○								2 オムニバス、標準外
		中東イスラーム言語文化入門	1.2.3.4①～②		2			○								1 標準外
		日本手話A	1.2.3.4①		2			○								4 オムニバス
		日本手話B	1.2.3.4②		2			○								4 オムニバス
		表現プロジェクト演習H	2.3.4③～④		2			○								2 オムニバス
		平和を考えるA	1.2.3.4①～②		2			○								6 オムニバス
		平和を考えるB	1.2.3.4③～④		2			○								9 オムニバス
		学問の扉 知と方法の最前線	1.2.3.4③～④		1			○								15 メディア、オムニバス、標準外
		西シドニー大学国際交流プログラムA	1.2.3.4①～②		2			○								1
		北京サマーセミナー I	1.2.3.4①～②		2			○								1 標準外
		北京サマーセミナー II	1.2.3.4①～②		2			○								1 標準外
		北京サマーセミナー III	1.2.3.4①～②		2			○								1 標準外
		表現プロジェクト演習G	2.3.4③		2			○								1
		表現プロジェクト演習T	2.3.4③		2			○								1
		キャリア形成と法制度	1.2.3.4③		2			○								1
		コリア学入門A	1.2.3③		2			○								1
		コリア学入門B	1.2.3④		2			○								1
		ユーザのための数学II	1.2.3.4③		2			○								1
		国際共修：留学生と考える日中言語文化A	1.2.3.4③		1			○								1
		仕事・業界理解から働く意味を探求する	1.2.3.4③		2			○								2
		自己・他者理解から始まるキャリア自律	1.2.3.4②		2			○								2
		シンガポール・スプリングセミナー	1.2.3.4③～④		2			○								1 標準外
		国際研修プログラム I	1.2.3.4①～④		1			○								1 標準外
		国際研修プログラム II	1.2.3.4①～④		2			○								1 標準外
		国際研修プログラム III	1.2.3.4①～④		3			○								1 標準外
		国際研修プログラム IV	1.2.3.4①～④		4			○								1 標準外
		地域共創特別演習（古町）	1.2.3.4①～④		2			○			※					3 ※実習、標準外
		オックスフォード大学英語研修の準備講座：グローバルコンピテンシー強化	1.2.3.4④		1			○								4 メディア
		韓国留学プログラムの準備講座：グローバルコンピテンシー強化	1.2.3.4②		1			○								3 メディア
		シンガポール・スプリングセミナーの準備講座：グローバルコンピテンシー強化	1.2.3.4④		1			○			※					1 ※実習、メディア
小計（154科目）				—	—	0	275	0	—	—	0	0	0	2	0	194
留学生基本科目		JLPT-N1 A	1.2.3.4①～②		1			○								1
		JLPT-N1 C	1.2.3.4③～④		1			○								1
		JLPT-N2 A	1.2.3.4①～②		1			○								1
		英語による日本語文法解説a	1.2.3.4①		1			○								1
		英語による日本語文法解説 b	1.2.3.4②		1			○								1
		英語による日本語文法解説 c	1.2.3.4③		1			○								1
		英語による日本語文法解説 d	1.2.3.4④		1			○								1
		中国語による日本語文法解説a	1.2.3.4①		1			○								1
		中国語による日本語文法解説 b	1.2.3.4②		1			○								1
		中国語による日本語文法解説 c	1.2.3.4③		1			○								1
		中国語による日本語文法解説 d	1.2.3.4④		1			○								1
		日本語 I	1.2.3.4①③		2			○								2 メディア、オムニバス
		日本語 II	1.2.3.4②④		2			○								2 メディア、オムニバス
		日本語 III	1.2.3.4①③		2			○								3 メディア
		日本語 IV	1.2.3.4②④		2			○								3 メディア
		日本語 V	1.2.3.4①～②③～④		4			○								3 メディア
		日本語 VI	1.2.3.4①～②		5			○								4 メディア
		日本語 VII	1.2.3.4③～④		5			○								4 メディア
		日本語作文 I	1.2.3.4①～②③～④		1			○								1
		日本語作文 II	1.2.3.4①～②③～④		1			○								1
		日本語作文 III	1.2.3.4①～②③～④		1			○								1
		日本語作文 IV	1.2.3.4①～②③～④		1			○								1
		日本語読解 I	1.2.3.4①～②③～④		1			○								1
		日本語読解 II	1.2.3.4①～②③～④		1			○								1
		日本語読解 III	1.2.3.4①～②③～④		1			○								1
		日本語読解 IV	1.2.3.4①～②③～④		1			○								1
		日本語読解 V	1.2.3.4①～②③～④		1			○								1
		日本語読解 VI	1.2.3.4①～②③～④		1			○								1

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数		授業形態			基幹教員等の配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育に関する授業科目	留学生基本科目	集中日本語O F	1.2.3.4③～④		5			○							3	オムニバス
		集中日本語O G	1.2.3.4③～④		5			○							3	オムニバス
		集中日本語O H	1.2.3.4③～④		5			○							3	オムニバス
		日本語入門	1.2.3.4①～②③～④		3			○							2	メディア、オムニバス
		課題研究I	1.2.3.4③～④		2			○							4	オムニバス、標準外
		課題研究II	1.2.3.4①～②		2			○							4	オムニバス、標準外
		日本文化入門I	1.2.3.4①②③④		1			○							1	メディア
		日本文化入門II	1.2.3.4①②③④		1			○							1	
		ビジネス日本語	1.2.3.4①～②③～④		2			○							1	
		日本で働く	1.2.3.4①～②		2			○							1	
		日本事情自然系A	1.2.3.4①～②		2			○							9	オムニバス
		日本事情社会系A	1.2.3.4③～④		2			○							5	メディア、オムニバス
		日本事情自然系B	1.2.3.4③～④		2			○							1	
		集中日本語O I	1.2.3.4③～④		3			○							3	オムニバス
		コミュニケーションカティティブ日本語入門	1.2.3.4③～④		2			○							2	メディア
	小計(43科目)		—		0	82	0	—			0	0	0	0	0	30
	大学学習法	スタディ・スキルズA	1①～②		2			○							1	
		スタディ・スキルズ	1.2.3.4①		2			○							14	オムニバス
		スタディ・スキルズAI a	1①		1			○							8	オムニバス
		スタディ・スキルズAI b	1①		1			○							7	オムニバス
		スタディ・スキルズAI c	1①		1			○							7	オムニバス
		スタディ・スキルズAII a	1③		1			○							8	オムニバス
		スタディ・スキルズAII b	1③		1			○							7	オムニバス
		スタディ・スキルズAII c	1③		1			○							7	オムニバス
		スタディ・スキルズB	1①		2			○							6	オムニバス
		スタディ・スキルズC	1①～②		2			○							3	オムニバス
		スタディ・スキルズE	1①～②		2			○							5	オムニバス
		スタディ・スキルズF	1①～②		2			○							5	オムニバス
		スタディ・スキルズG	1①～②		2			○							4	オムニバス
		スタディ・スキルズH	1①～②		2			○							4	オムニバス
		スタディ・スキルズI	1①		2			○							3	オムニバス
		スタディ・スキルズK	1①～②		2			○							4	オムニバス
		スタディ・スキルズL	1①～②		2			○							1	
		スタディ・スキルズM	1①		2			○							6	オムニバス
		スタディ・スキルズN	1①～②		2			○							6	オムニバス
		スタディ・スキルズP	1①～②		2			○							9	オムニバス
		スタディスキルズ(看護)	1①		2			○							7	オムニバス
		スタディスキルズ(検査)	1①～②		2			○							13	オムニバス
		スタディスキルズ(放射)	1①～②		2			○							2	
		スタディスキルズI	1①		1			○							18	オムニバス
		スタディスキルズII	1③		1			○							18	オムニバス
		スタディスキルズIII	1④		1			○							2	メディア、オムニバス
		工学リテラシー入門(化学材料分野)	1①		2			○							31	オムニバス
		工学リテラシー入門(建築分野)	1①		2			○							11	オムニバス
		工学リテラシー入門(情報電子分野)	1①		2			○							29	※演習、オムニバス
		工学リテラシー入門(融合領域分野)	1①		2			○							7	オムニバス
		工学リテラシー入門(力学分野)	1①		2			○							21	オムニバス
		歯学スタディ・スキルズ	1①～②		2			○							8	オムニバス
		歯学スタディ・スキルズII	2①～②		2			○							6	オムニバス
		人文初年次演習	1.2.3.4①～②		2			○							11	
	小計(34科目)		—		0	59	0	—			0	0	0	0	0	238
自然科学系共通専門基礎		解析学基礎1	1.2.3.4①		1			○							1	
		解析学基礎2	1.2.3.4②		1			○							1	
		数学基礎A1	1.2.3.4①③		1			○							3	
		数学基礎A2	1.2.3.4②④		1			○							3	
		数学基礎B1	1.2.3.4①③		1			○							4	
		数学基礎B2	1.2.3.4②④		1			○							4	
		統計学基礎1	1.2.3.4①③		1			○							3	
		統計学基礎2	1.2.3.4②④		1			○							3	
		物理学概論	1.2.3.4①～②③～④		2			○							2	
		物理学基礎A I	1.2.3.4①②①～②		2			○							1	
		物理学基礎A II	1.2.3.4③～④		2			○							6	メディア、標準外
		物理学基礎B I	1.2.3.4①②①～②		2			○							4	
		物理学基礎B II	1.2.3.4④		2			○							1	
		物理学基礎C I	1.2.3.4①～②		2			○							1	
		物理学基礎C II	1.2.3.4③～④		2			○							1	
		化学基礎A	1.2.3.4①②③		2			○							5	
		化学基礎B	1.2.3.4①②④		2			○							3	
		生物学基礎A	1.2.3.4①②①～②③		2			○							5	メディア、標準外
		生物学基礎B	1.2.3.4①②③～④		2			○							5	メディア、オムニバス
		地学基礎A	1.2.3.4①③		2			○							2	
		地学基礎B	1.2.3.4①		2			○							2	オムニバス
		地学基礎C	1.2.3.4④		2			○							1	
	小計(22科目)		—		0	36	0	—			0	0	0	0	0	49

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数		授業形態			基幹教員等の配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育に関する授業科目	自然科学	医学物理学入門	1.2.3.4③		1			○								10 メディア、オムニバス、標準外
		化学とSDGs	1.2.3.4③		2			○								3 オムニバス
		自然科学基礎実験	1①～②		2			○			○					22 オムニバス
		リメディアル数学I	1①		1			○								3
		リメディアル数学II	1②		1			○								3
		基礎数理A I	1.2.3.4②		2			○								5
		基礎数理A II	1.2.3.4④		2			○								3
		基礎数理B	1.2.3.4③		2			○								5
		基礎雪氷学	1.2.3.4②		2			○								6 オムニバス
		社会を支える有機化学	1.2.3.4③		2			○								1
		数学の世界	1.2.3.4③		2			○								4 オムニバス
		生活の化学	1.2.3.4③～④		2			○								1
		生物学－生物多様性A－	1.2.3.4④		2			○								2 オムニバス
		生物学－植物A－	1.2.3.4②		2			○								2 オムニバス
		生物学－動物A－	1.2.3.4③		2			○								1
		地学概論A	1.2.3.4①④		2			○								2
		地学実験A	1.2.3.4①～②		2					○						1
		地学実験B	1.2.3.4③		1			○			○					1
		地球と気象	1.2.3.4④		2			○								2
		物理学への招待A	1.2.3.4②		2			○								1
		物理学への招待B	1.2.3.4③～④		2			○			○					1
		物理学基礎実験	1.2.3.4①～②		2			○			○					4 オムニバス
		量子研究の最前線	1.2.3.4①～②		2			○			○					13 オムニバス
		地質学の基礎	1.2.3.4③		2			○								1
		生物学実験	1.2.3.4②		1			○			○					7 オムニバス
		安全工学基礎	1.2.3.4④		2			○								2 オムニバス
		化学実験	1.2.3.4③～④		2			○			○					6 オムニバス
		くらしを支える機械システム工学	1.2.3.4③		2			○								13 オムニバス
		材料科学概論	1.2.3.4③		2			○								15 オムニバス
		最先端技術を支える化学 I	1.2.3.4①		2			○								9 メディア、オムニバス
		生活を支える化学技術－化学工学への招待－	1.2.3.4②		2			○								3 オムニバス
		都市インフラを考える	1.2.3.4①		2					○						1
		原子力・放射線物理学入門	1.2.3.4①		1			○								1
		原子力・放射線関連法規入門	1.2.3.4②		1			○								1
		原子力・放射線防護学入門	1.2.3.4①		1			○								1
		原子力の未来と災害を考える	1.2.3.4①～④		1			○								3 オムニバス、標準外
		原子力入門	1.2.3.4②		1			○								2
		特許・経営および製品開発入門	1.2.3.4①		2			○								8 オムニバス
		特許と技術経営I	1.2.3.4①～②		1			○								2 オムニバス、標準外
		特許と技術経営II	1.2.3.4①～②		1			○								3 オムニバス、標準外
		放射性廃棄物処理法	1.2.3.4①		1			○								3 オムニバス
		放射線入門と実習	1.2.3.4①～②		1			○			○					3 オムニバス、標準外
		生態系を知る	1②		2			○								8 メディア、オムニバス
		生命を知る	1①		2			○								13 メディア、オムニバス
		農業資源を知る	1①		2			○								13 オムニバス
		農業DXを知る	1.2.3.4①～②		1			○								1 標準外
		小計(46科目)	—		—	0	77	0	—	—	0	0	0	0	0	160
人文社会・教育科学		人間関係論	1.2.3.4③		2			○								1
		日本古典文学N	1③～④		2			○								1
		歴史学H	1.2.3.4③		2			○								1
		歴史学I	1.2.3.4①		2			○								1
		歴史学0	1.2.3.4③		2			○								1 隔年
		歴史学P	1.2.3.4③		2			○								1
		歴史学Q	1.2.3.4②		2			○								1
		英語基礎 L	1①①～②		1			○								15
		英語基礎 R	1②①～②		1			○								13
		セクショナリティ・スタディーズ	1.2.3.4③～④		2			○								7 オムニバス
		生涯学習概論	2.3.4①～②		2			○								1 標準外
		技術日本語演習	1.2.3.4②		2			○								1
		少数民族の言語と文化	1.2.3.4①～②		2			○								1
		神経・生理心理学	1.2.3.4①		2			○								1 隔年
		日本古典文学K	1.2.3.4②		2			○								1
		日本の小説と表現	1.2.3.4③～④		2			○								1
		組織行動の心理学	1.2.3.4①～②		2			○								1
		現代思想論	1.2.3.4③～④		2			○								1
		心理学概論	1.2.3.4③		2			○								1
		西洋哲学演習	1.2.3.4③～④		2			○								1
		現代社会と科学技術	1.2.3.4③		2			○								1
		アクターネットワークの社会学	1.2.3.4③～④		2			○								1
		実験心理学と応用	1.2.3.4①		2			○								1
		つながりと糸の社会学	1.2.3.4④		2			○								1
		哲学	1.2.3.4①～②		2			○								1
		文化人類学の方法-他者へのまなざし	1.2.3.4③		2			○								1
		メディアの記号論	1.2.3.4①③		2			○								1
		意思決定のコミュニケーション論	1.2.3.4④		2			○								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数		授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育に関する授業科目	人文社会・教育科学	演劇入門	1.2.3.4③～④		2		○							1	
		音と音楽をめぐる科学と教養	1.2.3.4①～②		2		○							1	
		音楽R	1.2③～④		2		○							2	オムニバス
		現代社会論	1.2.3.4③		2		○							1	
		現代日本と伝統文化	1.2.3.4②③④		2		○							1	
		心と社会	1.2.3.4①～②		2		○							1	メディア、標準外
		心理学	1.2.3.4①～②		2		○							1	
		人文系フロンティア	1.2.3.4②		4		○							28	オムニバス
		教養の心理学	1.2.3.4①～②		2		○							1	
		対人行動の心理学	1.2.3.4③～④		2		○							1	
		日本古典文学0	1.2.3.4①		2		○							1	
		日本語教育 I - A	1.2.3.4①～②		2		○							1	
		日本語教育 I - B	1.2.3.4③～④		2		○							1	
		文学D	1.2.3.4③～④		2		○							1	
		文学E	1.2.3.4③		2		○							1	
		関係行政論	1.2.3.4③～④		2		○							1	
		心理的アセスメント	3.4③～④		2		○							1	
		精神疾患とその治療	1.2.3.4①～②		2		○							1	
		教養教育としての教育学入門	1.2.3.4③		2		○							1	メディア
		健康生活環境論	1.2.3.4③～④		2		○							1	
		音楽(ピアノ)	1.2.3.4①～②		2		○							1	
		公認心理師の職責	1.2.3.4②		1		○							3	オムニバス
		司法・犯罪心理学	1.2.3.4①～②		2		○							1	標準外
		人体の構造と機能及び疾病	1.2.3.4③～④		2		○							1	標準外
		心理演習	2.3.4③～④		2		○							4	オムニバス、標準外
		心理実習	3.4①～④		2		○							3	オムニバス、標準外
		水彩画表現入門	1.2.3.4①～②		2		○							1	メディア
		伝統芸術表現	1.2.3.4③～④		2		○							1	※演習
		ビジネス書道入門	1.2.3.4①～②③～④		2		○							1	
		美術史	1.2.3.4③～④		2		○							1	メディア
		音楽(作曲)	1.2.3.4③～④		2		○							1	
		音楽E	1.2.3.4③～④		2		○							1	
		日本文化論	1.2.3.4③～④		2		○							1	
		臨床心理学概論	1.2.3.4④		2		○							1	メディア
		国際関係入門	1.2.3.4②		2		○							1	
		死因究明と法	1.2.3.4③		2		○							7	メディア、オムニバス
		リーガル・システム	1.2.3.4②		2		○							3	オムニバス
		リーガル・システムA	1.2.3.4①		2		○							3	オムニバス
		リーガル・システムB	1.2.3.4②		2		○							3	オムニバス
		人文社会科学入門(法學)	1.2.3.4①		2		○							3	オムニバス
		日本国憲法	1.2.3.4①②③④①～②③～④		2		○							5	メディア、標準外
		組織マネジメント論	1.2①		2		○							1	
		中国語オプショナルA	1.2.3.4③		2		○							1	
		朝鮮語オプショナルB	1.2.3.4③～④		2		○							1	
		心と脳の科学リテラシー	1.2.3.4③		2		○							1	
		福祉心理学	1.2.3.4①～②		2		○							2	オムニバス
		小計(74科目)	—	—	0	147	0	—	—	0	0	0	0	0	109
医歯学		原子力と倫理	1.2.3.4④				1		○					4	オムニバス
		原子力災害医療体制	1①～④				1		○					1	※実習、標準外
		災害医療ロジスティクス	1.2.3.4③～④				1		○					1	標準外
		灾害医療概論	1.2.3.4③～④				1		○					1	標準外
		医学論文を読む(ジャーナルクラブ)A	1①～②				2		○					1	
		医学論文を読む(ジャーナルクラブ)B	1③～④				2		○					1	
		はじめての医学	1②				1		○					1	
		医学序説I	1①～②				2		○					5	オムニバス
		医学序説II	1③～④				2		○					3	
		健康と医学	1.2.3.4③～④				2		○					15	オムニバス
		先端医科学研究概説	1①～②				2		○					4	※演習、オムニバス
		「食べる」	1.2.3.4①				2		○					12	オムニバス
		PBL入門	3②				1		○					14	メディア、オムニバス
		顔	1.2.3.4③～④				2		○					11	オムニバス
		健康福祉学入門	1.2.3.4②				2		○						
		新潟発福祉学	1.2.3.4③				2		○						
		小計(16科目)	—	—	0	26	0	—	—	36	2	0	1	0	61
合計(668科目)			—	—	183.0	1106	0	—	—	44	41	35	54	0	755
学位又は称号		学士(医学)						学位又は学科の分野							医学関係
卒業要件及び履修方法															授業期間等
【医学教育プログラム】本プログラムに修業年限以上在学し、教養教育に関する授業科目から43単位以上、専門教育に関する授業科目(必修科目)の183単位、計226単位以上を修得すること。															2期 (1年次は4期)
															1学期の授業期間 15週
															1時限の授業時間 60分(1年次は90分)

(注)

1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科(学位の種類及び分野の変更等)に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。

2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しく

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数		授業形態			基幹教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手

は届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。

- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「主要授業科目」の欄は、授業科目が主要授業科目に該当する場合、欄に「○」を記入すること。なお、高等専門学校の学科を設置する場合は、「主要授業科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「単位数」の欄は、各授業科目について、「必修」、「選択」、「自由」のうち、該当する履修区分に単位数を記入すること。
- 6 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 7 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 8 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等」と読み替えること。
- 9 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員（助手を除く）」と読み替えること。
- 10 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - (1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
 - (2) 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
- 11 高等専門学校の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「△」を記入すること。

令和 8 年度
医学部入学定員増員計画

7 新大企第 10 号
令和 7 年 8 月 20 日

文部科学省高等教育局長 殿

国立大学法人新潟大学長
牛木 辰男

「地域の医師確保等の観点からの令和 8 年度医学部入学定員の増加について（令和 7 年 8 月 5 日文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」を受けて、標記に関する資料を提出します。

<連絡先>

責任者連絡先	職名・氏名	総務部企画課長・杉野 学史
	TEL	025-262-7626
	E-mail	planning@adm.niigata-u.ac.jp

大学名	国公私立
新潟大学	国立

1. 現在（令和7年度）の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
140	0	0	807

↑
(収容定員計算用)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
(ア) 入学定員	122	127	133	140	140	140	802
(イ) 2年次編入学定員	5	0	0	0	0	0	5
(ウ) 3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	127	127	133	140	140	140	807

2. 本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和8年度の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
100	0	0	600

↑
(収容定員計算用)

	R8	R9	R10	R11	R12	R13	計
(ア) 入学定員	100	100	100	100	100	100	600
(イ) 2年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
(ウ) 3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	100	100	100	100	100	100	600
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							△

3. 令和8年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
140	0	0	640

↑
(収容定員計算用)

	R8	R9	R10	R11	R12	R13	計
(ア) 入学定員	140	100	100	100	100	100	640
(イ) 2年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
(ウ) 3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	140	100	100	100	100	100	640
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							△

増員希望人数

40

↑
(内訳)

(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増（地域枠）	40
(2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増（研究医枠）	0
計	40

地域の医師確保のための入学定員増について

増員希望人数	40
--------	----

(1) 対象都道府県名及び増員希望人数

都道府県名	増員希望人数
大学が所在する都道府県 新潟県	40
大学所在地以外の都道府県	
計	40

※「大学所在地以外の都道府県」が5都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(2) 修学資金の貸与を受けた地域枠学生の確保状況

都道府県名	R6地域枠定員 (※1)	R6貸与者数 (※2)	R7地域枠定員 (※1)	R7貸与者数 (※2)	R6とR7の貸与者数のうち多い方の数
新潟県	40	40	40	40	40
					0
					0
					0
					0
計	40	40	40	40	40

(※1) 臨時定員分のみご記入ください。

(※2) 恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。

※6都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(3) 令和8年度地域の医師確保のための入学定員増について

1. 大学が講ずる措置

1-1. 地域枠学生の選抜

①令和6年度に実施した地域枠学生（令和7年入学）の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行った場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数 うち臨時定員分	選抜方法（※1）	出願要件（※1）	診療科の選定の有無	（診療科の選定がある場合）その診療科名	開始年度	備考	
特別選抜	(i) 学校推薦型選抜	別枠（区別型）	22	22	令和7年度大学入学共通テストの成績、面接の結果及び出願書類を総合して行います。 面接の評価によっては、大学入学共通テストの成績に関わらず不合格とすることがあります。 【一般枠】と【地域枠】を併願した者は【一般枠】を優先して選抜し、【一般枠】で合格とならなかった場合に【地域枠】として選抜の対象となります。 ただし、【一般枠】と【地域枠】を併願する場合、希望する者は【地域枠】を優先して選抜します。	新潟県内の高等学校を令和3年4月から令和6年3月までに卒業した者及び、令和7年3月卒業見込みの者（令和6年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）で、次の各号に該当し、当該校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦するものとします。 ①学習成績概評がAで、人物も優れ、新潟県内で将来の医療を担うという強い意志を有する者 ②合格した場合は、入学することを確約できる者 新潟県が設定する修学資金を受給するとともに、医師免許取得後、直ちに、新潟大学医歯学総合病院又はそれ以外の県内臨床研修病院で卒後臨床研修に従事し、引き続き新潟県が指定した医療機関に勤務（卒後臨床研修を含み9年間）することを確約できる者	有（推奨）	地域医療に貢献できる内科・総合診療科等	H21以前	
特別選抜	(i) 学校推薦型選抜	別枠（区別型）	18	18	令和7年度大学入学共通テストの成績、面接の結果及び出願書類を総合して行います。 面接の評価によっては、大学入学共通テストの成績に関わらず不合格とすることがあります。 【一般枠】と【地域枠】を併願した者は【一般枠】を優先して選抜し、【一般枠】で合格とならなかった場合に【地域枠】として選抜の対象となります。 ただし、【一般枠】と【地域枠】を併願する場合、希望する者は【地域枠】を優先して選抜します。	新潟県を含む全国の高等学校を令和3年4月から令和6年3月までに卒業した者及び、令和7年3月卒業見込みの者（令和6年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）で、次の各号に該当し、当該校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦するものとします。 ①学習成績概評がAで、人物も優れ、新潟県内で将来の医療を担うという強い意志を有する者 ②合格した場合は、入学することを確約できる者 新潟県が設定する修学資金を受給するとともに、医師免許取得後、直ちに、新潟大学医歯学総合病院又はそれ以外の県内臨床研修病院で卒後臨床研修に従事し、引き続き新潟県が指定した医療機関に勤務（卒後臨床研修を含み9年間）することを確約できる者	有（推奨）	地域医療に貢献できる内科・総合診療科等	R3	
合計			40	40						

（※1）貴大学において作成した学生募集要項に記載の内容をご記入ください。

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

②令和7年度に実施する地域枠学生（令和8年入学）の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行う場合には、それぞれご記入ください。

また、参考としてPRのために作成した文書（リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等）の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数	選抜方法（※1） うち臨時定員分	出願要件（※1）	診療科の選定の有無	（診療科の選定がある場合） その診療科名	開始年度	備考	
特別選抜	(i) 学校推薦型選抜	別枠（区別型）	40	40	令和8年度大学入学共通テストの成績、面接の結果及び出願書類を総合して行います。 面接の評価によっては、大学入学共通テストの成績に関わらず不合格とすることがあります。 【一般枠】と【地域枠】を併願した者は【一般枠】を優先して選抜し、【一般枠】で合格とならなかつた場合に【地域枠】として選抜の対象となります。 ただし、【一般枠】と【地域枠】を併願する場合、希望する者は【地域枠】を優先して選抜します。	新潟県を含む全国の高等学校を令和4年4月から令和7年3月までに卒業した者及び、令和8年3月卒業見込みの者（令和7年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）で、次の各号に該当し、当該校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦するものとします。 ①学習成績概評がAで、人物も優れ、新潟県内で将来の医療を担うという強い意志を有する者 ②合格した場合は、入学することを確約できる者 新潟県が設定する修学資金を受給するとともに、医師免許取得後、直ちに、新潟大学医歯学総合病院又はそれ以外の県内臨床研修病院で卒後臨床研修に従事し、引き続き新潟県が指定した医療機関に勤務（卒後臨床研修を含み9年間）することを確約できる者	有（推奨）	地域医療に貢献できる内科・総合診療科等	H21以前	
合計			40	40						

（※1）貴大学において、PRのために作成した文書（リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等）に記載の内容（貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容）をご記入ください。

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

1 - 2. 教育内容

①地域枠学生が卒後に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からの教育内容の概要（令和8年度）について、5~6行程度で簡潔にご記入ください。

1年次から早期医学体験実習を始め、地域医療に関する講義・実習を盛り込み、5年次には、地域医療臨床実習を必修にするなど、地域医療・地域包括ケアを担う医師の役割などを包括的に学ばせている。6年次で行う診療参加型臨床実習では、大学病院や関連病院で更に充実した臨床実習を行っている。また、全学年を対象にキャリアパス説明会を開催し、新潟県で地域医療に従事する強い意志を持つ医学生のキャリア形成を支援する体制を強化している。

(参考：記入例)

1~2年次には、「○○」という科目を開講とともに「△△」を必修化し、～～を学んでいる。3~4年次には、××実習を行い、～～を学んでいる。令和8年度からは、■■を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。

②（過去に地域枠を設定したことがある場合）これまでの取組・実績を、3~5行程度で簡潔にご記入ください。

平成20年度から地域枠による増員を開始し、平成22年度からすべての医学生を対象に、魚沼医療圏を中心とした新潟県内全域で地域医療臨床実習を実施してきた。令和7年度までに321名の地域枠学生（修学資金受給者）を確保し、そのうち106名が、現在、県指定病院に勤務し地域医療に貢献している。

(参考：記入例)

平成〇年度から地域枠による増員を開始し、□□、■■などの取組を行ってきた。令和7年度までに△名の地域枠学生を確保し、そのうち▲名が現在～～として地域医療に貢献している。

③上記①の教育内容（正規科目）について、講義・実習科目内容をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者 (※1)	必修／選択の別		講義／実習の別	単位数	開始年度
			地域枠学生	その他の学生			
1	早期医学体験実習（EME）	全員	必修	必修	実習	1	H21以前
4	臨床実習ⅠA	全員	必修	必修	実習	7	H21以前
5	臨床実習ⅠB	全員	必修	必修	実習	15	H21以前
5	臨床実習ⅠC	全員	必修	必修	実習	15	H21以前
5	臨床実習ⅡA	全員	必修	必修	実習	7	H21以前
6	臨床実習ⅡB	全員	必修	必修	実習	15	H21以前

(※1) 対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。（地域枠学生の希望者のみの場合は、対象者を「地域枠学生」、必修／選択の別を「選択」とご記載ください。）

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

④大学の正規科目以外で、提供する地域医療教育プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者 (※1)	都道府県との連携	期間 (例：○週間)	プログラムの概要（1~2行程度）	開始年度
全学年	新潟県地域医療夏季実習	全員	あり	11日間	地域医療の状況や重要性について学習し、医学生同士の交流により、地域医療に貢献するという共通意識を醸成する。	H21以前
3学年	サマースクール	地域枠学生	あり	1日間	富山大学と連携して、地域医療構想重点支援区域となっている上越地域を中心に社会医学的視点を学んでいる。	R5

(※1) 対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

⑤上記③④以外に、地域医療を担う医師の養成に関する取組等があれば 簡潔にご記入ください。（令和7年度以前から継続する取組を含む）（1～2行程度）

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
新医学セミナーの開催	新潟県の医療に関心を持つ全ての医学生を対象に、地域医療、臨床推論、災害医療、小児医療、救急医療等をテーマとして開催している。	H29

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

2. 都道府県等との連携等

①都道府県が設定する奨学金について、以下をご記入ください。併せて、都道府県が厚生労働省に提出する予定の地域の医師確保等に関する計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」（平成元年法律第64号）第4条に規定する都道府県計画等に位置づけることを約束する文書を添付して下さい。

なお、複数の奨学金を設定している場合は、それぞれ記入ください。

(※1) 診療科の限定または推奨がある場合は、備考欄に詳細をご記入ください。

※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②その他、都道府県と連携した取組があれば、簡潔にご記入ください。（1～2行程度）

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
新潟県地域医療支援センター医学科分室の設置	専任の教員、事務職員を配置しキャリア形成支援、地域医療実習の企画運営などを行っている。	H29

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

3. 在学中の地域枠学生に対する大学の相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援

在学中の地域枠学生に対する大学の相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援についてご記入ください。（都道府県と連携した取組を含む）（1～2行程度）

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
地域枠キャリアパス説明会の開催	地域枠学生を対象としたキャリアパス説明会を開催し、より良いキャリアパスを提示できるよう図っている。	H29
マッチング報告会の開催	地域枠6年生から下級生にマッチング情報を共有することで、初期臨床研修を含め、新潟県の医療に従事する意識を高めている。	H29
個人面談の実施	地域枠学生と毎年各15分程度の面談時間を設け、学習支援、キャリア形成支援を行っている。	R3

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

4. その他

1～3に記入したもの以外で、その他、地域の医師確保の観点から大学の今後の取組があれば、簡潔にご記入ください。（1～3行程度）

特に、都道府県からの奨学金の貸与を受ける者、地域枠入学者を確保するために貴大学で取り組まれていることや今後の取組予定がありましたら、ご記入ください。

新潟大学オープンキャンパスのほか、新潟県主催「地域医療を担う医師を目指す医学部志望者向け大学入試等説明会」、また、新潟県内の高校（公立、私立）に働きかけ、医学科への進学を真剣に考える学生に特化した「新潟大学医学部医学科体験講座」において、地域枠への進学も含めた医学科への進学を促し入学者の確保に努めていく。



令和 7 年度

学校推薦型選抜 学生募集要項

▶ 学校推薦型選抜Ⅱ型（大学入学共通テストを課す）

医 学 部（医学科）

新潟大学

実施日程

▶ 学校推薦型選抜Ⅱ型（大学入学共通テストを課す）

学部等	出願期間	受験票 ダウンロード通知	試験日	合格発表	入学手続期間
医学部 医学科	令和6年 11月25日(月) ～ 11月27日(水) (必着) 郵送のみ ◎WEB登録は、 令和6年11月20 日(水)9:00から 可能です。	令和6年 12月4日(水)	令和6年 12月13日(金)	令和7年 2月10日(月)	令和7年 2月18日(火) ～ 2月19日(水)

本募集要項の内容に変更が生じた場合の対応について

本募集要項の内容に変更が生じた場合は、以下のホームページ等により周知しますので、出願前や受験前は特にご注意願います。

新潟大学ホームページ <https://www.niigata-u.ac.jp/>



受験生特設サイト <https://www.niigata-u.ac.jp/examinee/>



新潟大学入学志願者への入学検定料免除について

新潟大学では、災害等の被災者の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るため、入学検定料免除の特別措置を行います。

免除の対象となる災害及び被災地域など、免除に関する詳細については、「新潟大学ホームページ > 受験生の方 > 受験生特設サイト > 入試情報 > 被災した学生への特別措置 > 新潟大学志願者への入学検定料免除について」をご覧ください。

受験生特設サイト <https://www.niigata-u.ac.jp/examinee/>



令和7年度入学者選抜で新潟大学が課す大学入学共通テストにおける 旧教育課程履修者に対する経過措置について

令和7年度入学者選抜で新潟大学が課す大学入学共通テストでは、平成30年告示学習指導要領に基づく教科・科目の内容による試験を受験するのが原則ですが、旧教育課程履修者への経過措置を次のとおりとします。

教科	新教育課程による出題科目	選択可能な旧教育課程による出題科目
国語	『国語』	経過措置なし
地理歴史	『地理総合』、『地理探究』、 『歴史総合』、『日本史探究』、 『歴史総合』、『世界史探究』、 『地理総合／歴史総合／公共』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』	『旧世界史A』、『旧世界史B』、 『旧日本史A』、『旧日本史B』、 『旧地理A』、『旧地理B』、 『旧現代社会』、『旧倫理』、 『旧政治・経済』、 『旧倫理、旧政治・経済』（※1、※2）
公民		
数学	『数学I』、『数学A』 『数学II』、『数学B』、『数学C』	『旧数学I・旧数学A』 『旧数学II』 『旧数学II・旧数学B』 『旧数学II』 『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』（※3）
理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	経過措置なし
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、 『中国語』、『韓国語』	経過措置なし
情報	『情報I』	『旧情報』

旧教育課程履修者で経過措置により出題する科目を受験する者は、巻末の別表を確認の上、受験する科目を選択してください。

- ※1 新教育課程による出題科目と旧教育課程による出題科目を組み合わせて選択することはできません。
- ※2 新教育課程による出題科目又は旧教育課程による出題科目のいずれを選択するか及び受験する科目数については、大学入学共通テスト出願時に申請する必要があります。
- ※3 『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校の専門教育等を主とする学科又は総合学科等において、専門教育に関する当該科目の履修者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。

(注1) 新教育課程履修者

- ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に令和4年4月に入学し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月に卒業見込みの者。
- ② 中等教育学校の後期課程に令和4年4月に進級し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月卒業見込みの者。

(注2) 旧教育課程履修者等

上記（注1）以外の者。

高等学校等卒業者、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第3学年修了者又は修了見込者、高等専修学校（文部科学大臣に指定された高等専修学校に限る。）修了者又は修了見込者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を令和7年3月卒業見込みであるが、入学は令和4年3月以前の者など、上記（注1）に該当しない者。

目 次

1	アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）等	1
2	募集人員、出願及び推薦の要件、選抜方法及び試験期日等 ▶ 学校推薦型選抜Ⅱ型(大学入学共通テストを課す) ・医学部(医学科)	2
3	出願手続	5
4	「受験票」及び「受験案内」について	11
5	受験上の注意事項	14
6	障がい等を有する入学志願者の事前相談	15
7	合格者の発表	15
8	入学手続等	16
9	学生寮への入寮について	16
10	入学者選抜に用いた個人情報の取扱い	17
11	受験者本人の試験成績の開示	18
12	最近における学校推薦型選抜実施状況	18
13	出願に必要な所定様式等	19

(別表) 共通テストにおいて経過措置の科目選択を認める教科・科目

1 アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）等

【求める学生像】

新潟大学は、自律と創生を全学の理念とし、教育と研究及び社会貢献を通じて、世界の平和と発展に寄与することを全学の目的としています。

この理念の実現と目的の達成のために、学位授与の方針に掲げるとおり、教育の基本的目標を、新潟大学の総合力を活かした学位プログラムを通じて、高い見識と良識をもって社会や時代の課題に的確に対応して、課題解決のために活躍できる人材を育成することに置いています。

以上の教育の基本的目標を実現するために、次に掲げるような資質豊かな学生を広く求めます。

- ・修学に適う、確固たる学力を身に付け、新しい課題に意欲的に取り組もうとする人
- ・人間性を大事にし、広い視野からものごとを考えようとする人
- ・地域社会や世界の様々な場面で役に立ちたいと思っている人

上記の求める学生像に加え、学士課程においては、高等学校教育までの全般にわたる基礎学力を有し、当該学部の教育目標・教育内容を理解し、そこで必要とされる基礎的能力と勉学への強い意欲を有する人を求める選抜します。

【入学者選抜の基本方針】

各学部、プログラム等で定める基本方針に従った選抜を行います。

なお、障がい者等の受け入れ方針については、障がいのある入学志願者に対し、障害者基本法や障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の趣旨に十分留意するものとします。

【入学までに身に付けてほしいこと】

広く社会に目を向け、興味を持ったことや問題と感じたことなどについて、まとまった知識や情報を集めて自分の考えを形成し、論理的な文章にまとめる力を高めるとともに、他者とのコミュニケーションを大切にして、自分とは異なるものの見方・考え方につれ、広い視野を持てるようにしてください。

新潟大学の“三つのポリシー”

<https://www.niigata-u.ac.jp/university/about/policies/f-policies/>



【各学部のアドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）等】

本学ホームページの、「受験生特設サイト > 入試情報 > アドミッション・ポリシー」を参照してください。

【各学部の「採点・評価基準」、「合否判定基準（判定基準、同点者の取扱い）」について】

本学ホームページの、「受験生特設サイト > 入試情報 > 採点・評価・合否判定基準」を参照してください。

受験生特設サイト <https://www.niigata-u.ac.jp/examinee/>



- ・本学のアドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で、「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することができます。
- ・入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも一部改変することもあります。
- ・「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学の一覧については、次のURLをご覧ください。

「入試過去問題活用宣言」ホームページ <https://www.nyushikakomon.jp>

2 募集人員、出願及び推薦の要件、選抜方法及び試験期日等

- ▶ 学校推薦型選抜Ⅱ型（大学入学共通テストを課す）

医学部（医学科）

(1) 募集人員

学 科	募 集 人 員
医 学 科	一般枠 20人 地域枠 40人 (新潟県内の高等学校対象 22人) (新潟県を含む全国の高等学校対象 18人) } 計60人

一般枠に欠員が生じた場合は、その欠員分を当該学科の一般選抜における前期日程の募集人員に加えます。

(2) 出願及び推薦の要件

【一般枠】……全国の国公私立高等学校 ((注1) の②を含む。) を対象とします。

令和7年3月高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）卒業見込みの者 ((注1) の①及び②を含む。) で、次の各号に該当し、当該校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦するもの。

1 学習成績概評がAで、人物も優れ、将来医学の分野で活躍が期待される者

2 合格した場合は、入学することを確約できる者

(注1) ① 令和6年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者

② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定
又は指定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了した者及び修了見込みの者

(注2) 当該校長が推薦できる人員は、1校につき20人以内とします。

(注3) 新潟県内で将来の医療を担うという強い意志を有する者は、本学医学部医学科学校推薦型選抜【地域枠】との併願ができます。

【地域枠】

令和3年4月から令和6年3月までに高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者（以下「既卒者」という。）及び、令和7年3月卒業見込みの者（令和6年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込み者」という。）で、次の各号に該当し、当該校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦するもの。

1 学習成績概評がAで、人物も優れ、新潟県内で将来の医療を担うという強い意志を有する者

2 合格した場合は、入学することを確約できる者

新潟県が設定する修学資金を受給するとともに、医師免許取得後、直ちに、新潟大学医歯学総合病院又はそれ以外の県内臨床研修病院で卒後臨床研修に従事し、引き続き新潟県が指定した医療機関に勤務（卒後臨床研修を含み9年間）することを確約できる者

(注) 当該校長が推薦できる人員は、1校につき30人以内とします。

(内訳) 卒業見込み者：一般枠を含め20人以内

既卒者：10人以内

[新潟県の修学資金貸与制度の概要]

- ・貸与額 月額 150,000円
- ・募集人員 40人
- ・貸与期間 6年間(入学した年の4月から卒業の月まで)
- ・対象者 「地域枠」入学生

※ 医師免許取得後、直ちに、新潟大学医歯学総合病院又はそれ以外の県内臨床研修病院で卒後臨床研修に従事し、引き続き新潟県が指定した医療機関に勤務(卒後臨床研修を含み9年間)した場合、修学資金の返還が全額免除されます。

制度の詳細については、『令和7年度 新潟県医師養成修学資金貸与制度「重点コース(新潟大学医学部「新潟県地域枠」)』のご案内』をご覧ください。不明な点は、以下に問い合わせてください。

(問合せ先) 新潟県 福祉保健部 医師・看護職員確保対策課
〒950-8570 新潟県新潟市中央区新光町4-1
TEL : 025-280-5960
FAX : 025-284-0277

(3) 選抜方法

令和7年度大学入学共通テストの成績、面接の結果及び出願書類の審査を総合して行います。

面接の評価によっては、大学入学共通テストの成績に関わらず不合格とすることがあります。

【一般枠】と【地域枠】を併願した者は【一般枠】を優先して選抜し、【一般枠】で合格とならなかつた場合に【地域枠】として選抜の対象となります。

ただし、【一般枠】と【地域枠】を併願する場合、希望する者は【地域枠】を優先して選抜します。

[大学入学共通テストで受験を要する教科・科目 (6教科8科目)]

受験を要する教科・科目	
国 語	『国語』 必須
数 学	『数学I, 数学A』 必須 『数学II, 数学B, 数学C』 必須
理 科	『物理』, 『化学』, 『生物』 から 2
外 国 語	『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』 から 1
地歴・公民	『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, 『地理総合／歴史総合／公共』, 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』 から 1
情 報	『情報I』 必須 (注1) 『「地理歴史」、「公民」』において、2科目受験した場合の成績は、最初に 解答した科目(第1解答科目)の成績とします。 (注2) 「外国語(英語)」は、リスニングを含みます。

[配 点]

試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	面接	合計
大学入学共通テスト	100	50		200	200	200	50		800
本学が実施する試験等								5段階	5段階

(注1) 大学入学共通テストにおける「外国語(英語)」の配点内訳は、リーディング「160」、リスニング「40」です。

(注2) 面接の結果を段階評価し、総合して判定します。

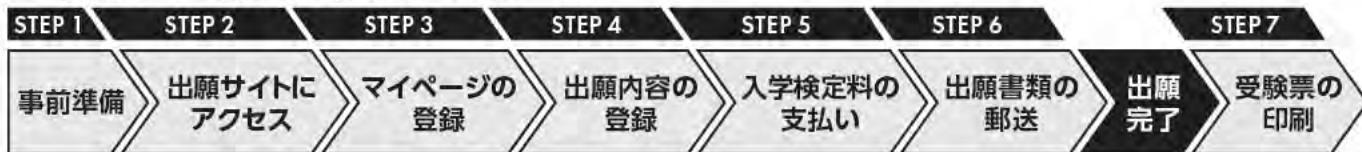
(4) 試験期日及び試験場等

試験期日	試験科目	集合時刻及び試験時間等	試験場
令和6年12月13日(金)	面接	受験案内(11~13ページ参照)により通知します。	新潟大学医学部医学科校舎 (新潟市中央区旭町通1番町 757番地)

3 出願手続

(1) インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP 1 事前準備

1
▼
▼

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。
早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。
※調査書など

(顔写真データ)

STEP 2 インターネット出願サイトにアクセス

2
▼
▼

インターネット▶ <https://e-apply.jp/ds/niigata-u/>
または、
大学ホームページ▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/>
からアクセス

STEP 3 マイページの登録

3
▼
▼
▼

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。

- ①初めて登録する方は
マイページ登録
から
ログインしてください。
- ②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信> を
クリックしてください。
- ③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。
- ④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。
- ⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。
- ⑥初期パスワードの変更を行ってください。
- ⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。
- ⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。

↙ ↘ ↙

⑨登録完了となります。
マイページへを
クリックしてください。

⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。
※出願受付中の場合のみ、出願手続きを行うボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんのでログアウトボタンをクリックしてください。

STEP 4

↙ ↘ ↙

出願内容の登録 (登録可能期間は、9ページを参照してください。)

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①入試の種類



②写真



③個人情報(氏名・住所等)



④申込登録完了
受付番号(12桁)は必ず控えてください。
出願情報を確認する場合と、出願書類を出力する際に必要になります。



⑤入学検定料の支払い方法
※コンビニエンスストア
※ペイジー対応銀行ATM
※ネットバンキング
※クレジットカード



⑥入学志願票PDF(イメージ)

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」又は「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMでお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号 メモ(13桁)												
------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済 番号メモ(11桁)											
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、 ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号 メモ(11桁)											
------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

確認番号 メモ(6桁)						
----------------	--	--	--	--	--	--

収納機関番号
(5桁) 5 8 0 2 1 ※収納機関番号は、ペイジーでお支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

受付完了後、募集要項記載の期日に「受験票ダウンロード通知」と「受験案内ダウンロード通知」が送信されます。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

STEP

5



入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されている必要があります

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能

④ セブン-イレブン

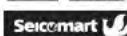


Loppi

LAWSON MINI STOP

マルチコピー機

あなたも、コンビニ。 FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

セブン-イレブン

④ セブン-イレブン



店頭レジ

レジで「インターネット代金支払い」と伝える

「払込票番号(13桁)」を伝える

デイリーヤマザキ
ヤマザキデリーストア

店頭レジ

レジで「オンライン決済」と伝える

「オンライン決済番号(11桁)」を伝える

ローソン
ミニストップ

LAWSON MINI STOP

Loppi

「各種番号をお持ちの方」を選択

「お客様番号(11桁)」入力

「マルチペイメントサービス」を選択

ファミリーマート

FamilyMart

マルチコピー機

「代金支払い/チャージ(コンビニでお支払いPayment/Charge)」を選択

「お客様番号(11桁)」入力

セイコーマート

Seicomart

店頭レジ

レジで「インターネット代金支払い」と伝える

「オンライン決済番号(11桁)」を伝える

4 銀行ATM

Pay-easy
利用ATM

Pay-easy ATM

ペイジー対応銀行ATM

「現金・料金払い込み」などを選択

「収納機開番号[58021]」を入力

「お客様番号(11桁)」入力

「確認番号(6桁)」入力

「確認番号(6桁)」入力

支払い内容確認

「現金」「キャッシュカード」を選択し支払う※

ご利用明細書を必ず受け取る

※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

6

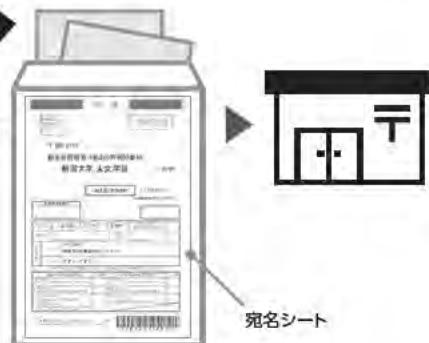
出願書類の郵送

登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願登録、入学検定料の支払い後にダウンロードできる書類を全てA4用紙にカラー印刷し、出願書類を出願期間内に必着となるように郵便局窓口から「書留・速達郵便」で郵送してください。

出願書類は、9～10ページを参照して準備してください。

送付先は出願する学部学科によって異なります。
10ページを参照してください。



宛名シート

「Web志願票」の印刷方法



(1) マイページに表示された [志願票(印刷)] のボタンをクリックしてください。

(2) お支払いが正常に完了すると
[志願票(印刷)] のボタンがクリックできる
ようになりWeb志願票の出力ができます。

*出願受理した入学検定料・出願書類は一切返却しません。

出願時の注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、出願書類を郵送して完了となります。登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。インターネット出願は24時間可能です。ただし、入学検定料の支払いは出願締切日まで（営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります）、出願書類の郵送は出願締切日必着です。ゆとりを持った出願を心がけてください。

〈出願完了〉

STEP

7

受験票・受験案内の印刷

本学で出願書類を受理した後、受験票及び受験案内のダウンロードが可能になりましたら、メールにて出願サイトに登録したメールアドレスへ通知します。インターネット出願システムより受験票及び受験案内をダウンロード後、必ず印刷し、試験当日持参してください。

【印刷に関する注意事項】受験票は必ずA4用紙にカラー印刷してください。



新潟大学インターネット出願サイトの管理・運営は、株式会社キャリタスが行っています。お問合せ先

■「学び・教育」出願・申込サービスサポートセンター
TEL: 0120-202079 E-Mail: cvs-web@career-tasu.co.jp

(2) 出願方法

入学志願者は、本学のインターネット出願サイト(<https://e-apply.jp/ds/niigata-u/>)から出願登録の上、入学検定料支払いを行ってください。出願期間は（3）に記載のとおりです。

その後、「入学志願票」、「出願書類提出用宛名」をダウンロードし、A4用紙にカラー印刷してください。出願書類提出用封筒は、市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に、カラー印刷した「出願書類提出用宛名」を貼り付けて作成してください。

出願書類提出用封筒に、出願書類を一括して入れ、出願期間内に必着となるように書留・速達により郵送してください。

(3) 出願期間

令和6年11月25日（月）から11月27日（水）まで（郵送必着）

※ WEB登録は令和6年11月20日（水）9:00から可能です。

（注1）出願期間後に到着したものは受理しません。ただし、11月25日（月）以前の発信局（日本国内）消印のある書留速達郵便に限り、期間後に到着した場合でも受理します。

（注2）複数人の出願書類等を高等学校等で一括して郵送する場合であっても、個人別に巻封してください。

（注3）郵送受付のみ。出願書類の直接持参は受け付けておりません。

(4) 出願書類等

出願書類等	摘要
①入学志願票	<ul style="list-style-type: none">・本学のインターネット出願サイト(https://e-apply.jp/ds/niigata-u/)から出願内容の登録を行ってください。・出願内容の登録の際、志願者の写真をアップロードしてください。写真は、上半身、無帽、正面向きのもので出願前3か月以内に撮影したもの（受験時に眼鏡を使用する者は、眼鏡をかけて撮影したもの）とし、比率は縦4×横3、ファイルサイズは2MBまでとします。・入学検定料17,000円の支払方法は、「3 出願手続き（1）インターネット出願の流れ STEP5【入学検定料の支払い】」（7ページ）をご確認ください。検定料の支払い手数料は志願者負担です。・その後、「入学志願票」と「出願書類提出用封筒宛名」をダウンロードし、A4用紙にカラー印刷してください。
②令和7共通テスト成績請求票 (<u>推薦</u> 国公立推薦型選抜用)	出願時に提出することはできないため、 <u>12月中旬に大学入試センターから届き次第、速やかに、「(5)出願書類等送付先」あてに書留・速達により郵送してください。</u> なお、「成績請求票」裏面には、新潟大学受験番号、氏名を記入してください。
③志願理由書	本学ホームページ※から所定様式を印刷し、志願者本人が自筆したもの。
④推薦書	「本学ホームページ > 受験生の方 > 受験生特設サイト > 入試情報 > 学校推薦型選抜」(https://www.niigata-u.ac.jp/admissions/faculty/recommendation/)からダウンロードした所定様式により出身学校長が作成し、巻封したものを提出してください。

⑤調査書	<ul style="list-style-type: none"> 文部科学省所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 <p>なお、出身学校長に調査書の作成を依頼する際に、本要項に添付の「調査書作成に関するお願い」のページを印刷し、学校長に依頼してください。</p> 被災その他の事情により調査書が得られない場合には、卒業（見込）証明書や成績通信簿その他志願者が提出できる書類をもって代えることができます。本人が被災等によりこれらの書類をも整えられない場合は、出身学校等を所管する教育委員会、知事又は出身学校長が作成したこれに関する証明書を提出してください。また、本人に対して面接等を行うことがあります。 新型コロナウイルス感染症の影響による大会や資格・検定試験等の中止・延期等により、調査書の特別活動の記録及び指導上参考となる諸事項の欄が記載できない場合は、その理由を付した上で、当初参加を予定していた大会名や資格・検定試験名などを記載してください。
⑥確約書（地域枠志願者のみ）	本学ホームページ※から様式を印刷し、必要事項を記入のうえ提出してください。
⑦同意書（地域枠志願者のみ）	本学ホームページ※から様式を印刷し、必要事項を記入のうえ提出してください。

※ 「本学ホームページ > 受験生の方 > 受験生特設サイト > 入試情報 > 学校推薦型選抜」
 (<https://www.niigata-u.ac.jp/admissions/faculty/recommendation/>)

(5) 出願書類等送付先

学部等	送 付 先		問 合 せ 先
	郵便番号	所 在 地	
医学部医学科	951-8510	新潟市中央区旭町通1番町757番地	医学部医学科入試・臨床実習係 (025) 227-2015

(6) 出願に関する注意事項

- ① 出願書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- ② 出願書類等及び既納の検定料は、返還しません。
 ただし、検定料振り込み後、出願期間内に出願書類等を提出しなかった場合は、当該検定料（17,000円）を返還します。詳細は、「本学ホームページ > 受験生の方 > 受験生特設サイト > 入試情報 > 納付済検定料返還手続」を参照してください。
 受験生特設サイト <https://www.niigata-u.ac.jp/examinee/>
- ③ 出願書類等受付後は、書類の記載事項の変更は認めません。
- ④ 学校推薦型選抜の出願は、1つの大学・学部に限りますが、学校推薦型選抜に合格しなかった場合に備えて、一般選抜の中で「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの、合計2つの大学・学部にも出願できます。



本学の一般選抜（前期日程、後期日程）に出願を希望する者は、本学ホームページ等で出願手続を確認の上、令和7年1月27日（月）から2月5日（水）の間にあらためて出願してください。

4 「受験票」及び「受験案内」について

受験票ダウンロード通知日に、出願サイトに登録したメールアドレスあて、「受験票ダウンロード通知」及び「受験案内ダウンロード通知」を送信しますので、当該メール本文に記載された手順等に従って、受験票及び受験案内をダウンロードして印刷してください。

なお、受験票ダウンロード通知日中にメールが届かない場合でも、出願書類が受理されれば、受験票ダウンロード通知日の翌日以降に本学のインターネット出願サイト（<https://e-apply.jp/ds/niigata-u/>）のマイページから、受験票等のダウンロードができます。

学部等	受験票ダウンロード通知日
医学部 医学科	令和6年12月4日（水）

(1) 志願者が郵送した出願書類を本学が受理した後、受験票ダウンロード通知日に、インターネット出願サイトに登録した志願者のメールアドレスへ以下の内容のメールを送信します。

※ メールの文面の内容は、変更されることがあります。

※ 登録したメールアドレスは成績開示等でも使用します。必ず、次年度以降も使用できるメールアドレスで登録してください。

【e-applyインターネット出願サイト】
新潟大学 出願手続 受験票ダウンロード通知

このたびは、出願サイトをご利用いただき、誠にありがとうございます。
受験票の印刷が可能となりましたので、お知らせいたします。

■以下のURLから受験票を印刷してください。
<https://e-apply.jp/ds/niigata-u/public/login>

■受付番号
123456789012
※受付番号ではありません。

■注意
○試験当日は、印刷した受験票を持参してください。
○スマートフォン等の画面表示による受験票の提示は認めません。
○本メールは入試が終了するまで大切に保管してください。
○登録したメールアドレスは成績開示等でも使用します。必ず、次年度以降も使用できるメールアドレスで登録してください。

本メールは、送信専用メールアドレスから配信されています。
返信をいただいてもお答えできませんので、ご了承ください。

お問合せ先

- 「学び・教育」出願・申込サービスサポートセンター
- TEL : 0120-202079 E-Mail : cvs-web@career-tasu.co.jp

(2) 受験案内についても、受験票ダウンロード通知日に、インターネット出願サイトに登録した志願者のメールアドレスへ以下の内容のメールを送信します。

※ メールの文面の内容は、変更されることがあります。

【e-applyインターネット出願サイト】

新潟大学 出願手続 受験案内ダウンロード通知

このたびは、出願サイトをご利用いただき、誠にありがとうございます。

受験案内の印刷が可能となりましたので、お知らせいたします。

■以下のURLから受験案内を印刷し、熟読してください。

<https://e-apply.jp/ds/niigata-u/public/login>

■受付番号

123456789012

※受験番号ではありません。

■注意

○本メールは入試が終了するまで大切に保管してください。

○登録したメールアドレスは成績開示等でも使用します。必ず、次年度以降も使用できるメールアドレスで登録してください。

本メールは、送信専用メールアドレスから配信されています。

返信をいただいてもお答えできませんので、ご了承ください。

お問合せ先

- 「学び・教育」出願・申込サービスサポートセンター
- TEL : 0120-202079 E-Mail : cvs-web@career-tasu.co.jp

- (3) メールに記載されているURLをクリックすると以下の画面が表示されますので、志願者の「メールアドレス」、「パスワード」を入力して「ログイン」をクリックしてください。

【ログイン画面】

画面はイメージです。

- (4) マイページにログイン後、以下の画面が表示されますので、受験票及び受験案内をダウンロードし、A4用紙にカラー印刷して、試験当日に持参してください。また、受験案内は予め熟読してください。

【志願票・受験票・受験案内ダウンロードページ】

画面はイメージです。

5 受験上の注意事項

(1) 試験当日及び試験時間中の留意事項

- ① 試験当日は、「新潟大学学校推薦型選抜受験票」を必ず携帯してください。
- ② 筆記用具等は、黒鉛筆（黒シャープペンシルを含みます。）・鉛筆キャップ・鉛筆削り（電動式を除きます。）・消しゴムとします。これ以外は使用できません。
- ③ 時計の使用は、計時機能だけのものに限ります。辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、キッチンタイマーや学習タイマーは使用できません。
- ④ その他受験に際しての詳細は、「受験案内」で指示します。

(2) 不正行為

- ① 次のことを行うと不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。

- (a) 志願票、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票に本人以外の写真を使用することや解答用紙に本人以外の受験番号を記入するなど。）をすること。
- (b) カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他人から答えを教わることなど。）をすること。
- (c) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- (d) 試験時間中に、問題冊子を試験室から持ち出すこと。
- (e) 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- (f) 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- (g) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
(イヤホンについては耳に装着されていれば、使用しているものとします。試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器を使用したい場合は事前にご相談ください。
15ページ「6 障がい等を有する入学志願者の事前相談」参照。)
- (h) 試験時間中に、持ち込みを許可されたもの以外の補助具（定規、コンパス、電卓等）を使用すること。
- (i) 「解答やめ。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

- ② 上記①以外にも、次のことを行うと不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記①と同様です。

- (a) 試験時間中に、持ち込みを許可されたもの以外の補助具（定規、コンパス、電卓等）及びスマートフォンや携帯電話、ウェアラブル端末等の電子機器類等をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- (b) 試験時間中にスマートフォンや携帯電話、時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に多大な影響を与えること。
- (c) 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- (d) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- (e) 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- (f) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

6 障がい等を有する入学志願者の事前相談

障がい等を有する入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、次により本学と相談してください。

(1) 相談の期限

令和6年11月20日（水）までとします。

ただし、事前の準備を必要とする場合がありますので、できる限り早い時期に相談してください。

なお、相談の期限後に配慮が必要となった場合は、至急(4)の連絡先に問い合わせてください。

(2) 相談の方法

申請書(所定用紙)に必要事項を記入のうえ、医師の診断書等必要書類を添付し、提出してください。

(3) 提出書類

① 申請書（所定用紙）

「本学ホームページ > 受験生の方 > 受験生特設サイト > 入試情報 > 障がい等を有する入学志願者の事前相談」(<https://www.niigata-u.ac.jp/examinee/>)に掲載されている所定用紙を使用してください。



② 診断書（写し可。発行後6か月以内、又は、大学入学共通テスト出願時に提出したもの）
また、大学入学共通テストの「受験上の配慮決定通知書」がある場合は、その写しも提出してください。なお、必要な場合は、本学において志願者及び関係者等と面談を行います。

(4) 連絡先・申請書請求先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

新潟大学学務部入試課 電話(025) 262-6079

7 合格者の発表

(1) 選考結果の通知

選考結果は、令和7年2月10日（月）付けで速達郵便により、推薦学校長に通知します。

(2) 合格者の発表及び合格通知書の交付

合格者の発表は、令和7年2月10日（月）午前10時に合格者の受験番号を合格発表webサイト（<https://www.gouhi.com/niigata-u/>）に掲載するとともに、合格者へ合格通知書を郵送します。



注1) 合格発表当日の合格発表webサイトへのアクセスについては、回線が大変混み合い、つながりにくくなる場合があります。つながりにくい場合は、しばらく時間をおいてから再度アクセスしてください。

注2) 電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

注3) JR新潟駅周辺又は新潟大学最寄りの駅等で、合否電子郵便等の勧誘を行っていることがありますが、新潟大学では、そのようなことは行っていません。不当な料金を請求される等のトラブルも発生していますので、十分注意してください。

(3) 合格者は他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除き、本学を含む。以下同じ。）を受験しても、入学許可は得られません。

ただし、特別の事情があり、当該推薦学校長から「学校推薦型選抜入学辞退願」が提出され、令和

7年2月19日(水)までに本学が入学辞退を許可した場合は、この限りではありません。入学辞退の手続については、合格者に送付する「入学手続案内」でお知らせします。

※ 公立大学協会ホームページ(<https://www.kodaikyo.org>)参照

8 入学手続等

入学手続の概要は、次のとおりです。

なお、入学手続の詳細は、「合格通知書」とともに送付する「入学手続案内」により通知します。

また、合格者が令和7年2月19日(水)までに入学手続を完了しないときは、新潟大学学校推薦型選抜合格者としての権利を消失します。この場合、他の国公立大学を受験しても、入学許可は得られません。ただし、7(3)のただし書きに該当する者を除きます。

(1) 入学手続期間

令和7年2月18日(火)から2月19日(水)まで

(2) 入学手続に必要な書類等

- ① 入学料 282,000円（予定額）の振り込みを証する書類
- ② 大学入学共通テスト受験票
- ③ その他の書類については「入学手続案内」により通知します。

○授業料

年額 535,800円（前期分 267,900円、後期分 267,900円）（予定額）

(1) 授業料は、入学後、口座引き落としにより納付していただく予定です。

(2) 授業料の納付方法の詳細については、合格者に別途通知します。

(3) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

入学料や新生活を始めるにあたって必要になる学資の一部を奨学金（50万円）として給付する「輝け未来！！新潟大学入学応援奨学金」制度や、入学料・授業料の免除及び徴収猶予制度に関する詳細は、本学ホームページの受験生特設サイト（<https://www.niigata-u.ac.jp/examinee/>）をご覧ください。

9 学生寮への入寮について

学生寮の出願受付は、入試区分（一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜、帰国生徒特別選抜、社会人特別選抜、私費外国人留学生特別選抜及び編入学試験）にかかわらず一斉に行います。学校推薦型選抜を受験し学生寮への入寮を希望する方は、ダウンロードした新潟大学受験票の写しを同封し、下記により出願してください。

なお、学生寮（新潟大学五十嵐キャンパス内）の概要は、以下のとおりです。

寮名	収容人数	居室の状況、寮費等の月額
六花寮男子棟 六花寮女子棟	各100人 (うち留学生各20人)	個室(12.46m ²)、居室費13,000円 光熱水料7,000円程度 各居室に冷暖房あり、食事提供なし
五十嵐寮A棟(男子) 五十嵐寮B棟(女子)	各200人 (うち留学生各5人)	個室(9.45m ²)、居室費4,300円 光熱水料7,000円程度 自治会費年間2,000円 各居室に冷房なし暖房あり、食事提供なし

(1) 募集要項の入手方法

- 本学ホームページ(<https://www.niigata-u.ac.jp>) の「受験生の方 > 学生寮入寮者の募集について」に、学生寮入寮者募集要項と出願様式を掲載しますので、ダウンロードしてください。
- 本学ホームページの掲載期間は、令和6年12月16日(月)～令和7年2月21日(金)です。
- ダウンロード以外の方法を希望する場合は、(5)の問合せ先にお問い合わせください。

(2) 出願条件

通学所要時間が90分以上の者（通学所要時間とは、自宅から、通常の通学方法と経路による片道の通学時間をいいます。）

なお、入寮選考は家庭の経済状況（家計支持者等の収入）を基準として行います。

(3) 入寮願書の提出方法

封筒（標準角形2号（240mm×332mm））に入寮願書等を入れ、下記出願期間内に学務部学生支援課へ郵送してください。土曜日・日曜日・祝日以外は、持参受付（8時30分～17時15分）も行います。
なお、出願期間は入試区分にかかわらず一律ですので、必ずこの期間内に出願を行ってください。

出願期間 令和7年2月3日(月)～令和7年2月21日(金)17時15分まで（必着）

宛 先 〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
新潟大学学務部学生支援課学生係

※ 出願には新潟大学受験票の写しのほか、市区町村が発行する所得証明書なども必要となりますので、必要書類は早めに取りそろえてください。

(4) 募集人員

六 花 寮 … 男子・女子各約20人

五十嵐寮A棟 … 男子約25人（「輝け未来！！新潟大学入学応援奨学金」対象者含む。）

五十嵐寮B棟 … 女子約25人（同上）

(5) 問合せ先（平日 8:30～17:15）

学務部学生支援課学生係 電話(025)262-6091

10 入学者選抜に用いた個人情報の取扱い

- (1) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学者選抜方法等における調査・研究、分析及び④これらに付随する業務を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は、入学者選抜方法等における調査・研究、分析を行うために利用します。
- (3) 各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学から当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行なうことがあります。業務委託に当たり、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部又は一部を受託業者へ提供します。
- (4) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行なうため、氏名、性別、生年月日、受験番号、高等学校等コード、大学入学共通テストの受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学へ提供します。
- (5) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入試成績は、合格者のみ入学手続関係（入学料、授業料等）、教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）に関する業務を行うために利用します。

なお、個人情報のうち、合格者の氏名及び住所については、本学の同窓会、後援会及び新潟大学生活協同組合からの連絡を行うために利用する場合があります。

1.1 受験者本人の試験成績の開示

受験者全員に対し、Web上でのデータ表示により開示します。「インターネット出願サイト」にアクセスし、必要事項を入力してログインした後、サイトの案内に従い、該当の入学試験の成績を表示してください。詳細は「本学ホームページ > 受験生の方 > 受験生特設サイト > 入試情報 > 入試情報の提供・開示」(<https://www.niigata-u.ac.jp/examinee/>) を確認してください。

1.2 最近における学校推薦型選抜実施状況

学 部	学科・課程等	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		募集人員	志願者	合格者	募集人員	志願者	合格者	募集人員	志願者	合格者
医学部	医学科	一般枠	20人	125人	20人	20人	143人	20人	20人	167人
		地域枠	33人	125人	33人	40人	155人	40人	40人	185人
		計	53人	163人	53人	60人	194人	60人	60人	231人

※ 一般枠と地域枠の併願可。

1 3 出願に必要な所定様式等

- ・下記様式(1)～(5)は、本要項に添付の所定様式を印刷して使用してください。
(本学ホームページからダウンロードすることも可能です)
- ・下記様式(6)は、本学ホームページからダウンロードしてください。

本学ホームページ > 受験生の方 > 受験生特設サイト > 入試情報 > 学校推薦型選抜
(<https://www.niigata-u.ac.jp/admissions/faculty/recommendation/>)

- (1) 調査書作成に関するお願い
- (2) 志願理由書
- (3) 確約書（地域枠志願者用）
- (4) 同意書（地域枠志願者用）
- (5) 令和7年度 新潟県医師養成修学資金貸与制度「重点コース（新潟大学医学部「新潟県地域枠」）」のご案内（地域枠志願者用）
出願時 (4) 同意書のみ提出（その他の書類は入学手続時に提出が必要）
- (6) 推薦書（所定様式により出身学校長が作成し、巻封したものを提出してください。）

出身学校長に調査書の作成を依頼する際に、このページを印刷し、学校長に依頼してください。

学校長 殿

新潟大学

調査書作成に関するお願い

本学学校推薦型選抜では、調査書の内容についても十分活用し、総合的に入学者選抜の判定を行っております。

つきましては、調査書の作成に関し、下記の点にご留意くださるようお願いいたします。

記

1. 調査書は、文部科学省所定の様式により学校長が作成し、巻封してください。

志願理由書

志願者	フリガナ	
	氏 名	

志願希望枠に○を記入してください。	一般枠	一般枠と地域枠併願	地域枠優先併願	地域枠
-------------------	-----	-----------	---------	-----

(注) 記入に際しては、次ページの志願理由書記入要領を参照してください。

※欄は記入しないでください。

志願理由書記入要領

志願者自筆により、志願を希望する枠に応じて、下記の内容を400字以内で、横書きで記入してください。

【一般枠】

医学部医学科を志願する理由、抱負などを記入してください。

【一般枠】と【地域枠】併願、【地域枠】優先併願

医学部医学科を志願する理由、抱負及び新潟県で地域医療を目指す理由、抱負などを記入してください。

【地域枠】

新潟県で地域医療を目指す理由、抱負などを記入してください。

※

※印欄は記入しないでください。

地域枠志願者用

確 約 書

令和 年 月 日

新潟大学医学部長 殿

本 人 氏 名 (自署) _____

学資負担者氏名 (自署) _____

私は、新潟県内で将来の医療を担うという強い意志を持っており、入学後は、新潟県が設定する修学資金を受給するとともに、医師免許取得後、直ちに、新潟大学医歯学総合病院又はそれ以外の県内臨床研修病院で卒後臨床研修に従事し、引き続き新潟県が指定した医療機関に勤務（卒後臨床研修を含み9年間）することを確約します。

※

地域枠志願者用

※印欄は記入しないでください。

別記第1号様式の2

同意書

新潟県知事 殿

私は、新潟県医師養成修学資金の貸与を受けるにあたり、キャリア形成卒前支援プラン*への参加について同意するとともに、医師養成修学資金貸与事業実施規則第9条（返還の債務の当然免除）に規定される新潟県の指定医療機関等における勤務について、キャリア形成プログラム*の下記事項につき同意します。

記

- 1 医師養成修学資金貸与事業実施規則及び同実施規程を遵守すること。
 - 2 大学を卒業した後2年以内に医師の免許を取得し、かつ同免許を取得後直ちに新潟県内の臨床研修病院で臨床研修に従事すること。
 - 3 新潟県が策定するキャリア形成プログラム*に参加すること。
 - 4 臨床研修修了後は直ちに新潟県が指定する医療機関に勤務し、臨床研修に従事した時点から通算して9年間以上在職すること。
- なお、新潟県が認めた場合は、キャリア形成プログラムを一時中断することが可能であること。
- 5 新潟県の同意を得ずにキャリア形成プログラム*から離脱しないこと。

新潟県は、死亡・重度の疾病等の場合を除き、原則としてキャリア形成プログラム*からの離脱に同意しないこと。

新潟県の同意を得ずにキャリア形成プログラム*から離脱した場合、一般社団法人日本専門医機構が専門医の認定を行わないこと。

なお、新潟県の同意の有無に関わらず、キャリア形成プログラムから離脱した場合であっても、修学資金の貸借関係の解除に影響を及ぼさないこと。

年 月 日

入学出願者氏名：

(自署してください。)

保護者もしくは

法定代理人氏名：

(入学出願者が未成年の場合は自署してください。)

*キャリア形成卒前支援プランとは、卒後のキャリア形成等を描けるよう、大学在学中から行う支援のこと。

*キャリア形成プログラムとは、地域枠医師等のキャリア形成と想定される指定医療機関等を示したもの。

令和7年度 新潟県医師養成修学資金貸与制度 「重点コース（新潟大学医学部「新潟県地域枠」）」 のご案内



新潟県医師養成修学資金は、将来、新潟県内の地域医療を担おうとする気概と情熱に富んだ医学生に対し、新潟県が貸与資金を拠出し、（公財）新潟医学振興会が貸与するものです。

今回、新潟大学医学部医学科学校推薦型選抜「地域枠」を受験される皆様へ「重点コース（新潟大学医学部「新潟県地域枠」）」修学資金貸与制度についてご案内します。

「重点コース（新潟大学医学部「新潟県地域枠」）」申請要件

- 新潟大学医学部医学科「学校推薦型選抜「地域枠」」の出願資格を満たしていること
- 新潟県の地域医療に貢献する意欲を有すること
- 新潟県が設定する修学資金を受給し、卒業して医師免許取得後、新潟県が指定する医療機関等に9年間勤務（※）する意志のあること

（※ 臨床研修の2年間を含みます。9年間勤務することによって、修学資金の返還が全額免除されます。）

制度概要

貸与額 月額 15万円、年額 180万円（6年間貸与総額 1,080万円）

貸与人数 40人（県内高校出身者22名 / 全国（県内含む）の高校出身者18名）

貸与期間 入学した年の4月から卒業の月まで（貸与期間は正規の修業年限に限ります）

対象者 新潟大学医学部医学科「学校推薦型選抜「地域枠」」に合格して入学する方

所得制限 なし

その他 将来の診療科の選択については、特に地域医療に貢献できる内科・総合診療科等を推奨します。

申請書類等

申請書類

- ① 新潟県医師養成修学資金貸与申請書（第1号様式）
- ② 同意書（第1号様式の2）
- ③ 誓約書（第4号様式）
- ④ 修学資金振込先等連絡用紙

②は出願時に
①③④は入学手続き時に
提出してください

保証人

修学資金の貸与を受けた者と連帯して債務を負担する者として、2人の保証人が必要です。

※保証人のうち1人は以下の方としてください。

- 貸与を受けようとする者が未成年の場合：法定代理人
- 貸与を受けようとする者が成年者の場合：父母兄姉又はこれに代わる方

申請書等の提出期間及び提出方法

提出期間

「②同意書」

令和6年11月25日（月）～令和6年11月27日（水）まで

「①新潟県医師養成修学資金貸与申請書」「③誓約書」「④修学資金振込先等連絡用紙」
令和7年2月18日（火）～令和7年2月19日（水）まで

提出方法

- ②は、新潟大学が指定した期日内に、出願書類と一緒に大学へ提出してください。
- ①③④は、新潟大学から地域枠合格者に対して、合格通知書及び入学手続書類と同時に送付されますので、指定された期日までに新潟大学へ提出してください。
- 送付先や提出期限等については、新潟大学の「学生募集要項」や「入学手続案内」等を必ず御確認ください。
- 提出された書類は、修学資金の貸与に関する目的以外の用途には使用しません。
また、提出された書類は返却しません。

貸与決定等

選考方法

新潟大学が実施する試験において、医学部医学科「学校推薦型選抜「地域枠」」に合格して入学手続きを行った者で、書面等により本県地域医療に貢献したいという意志等を確認した者を修学資金の被貸与者として決定します。

貸与決定までの流れ(予定)

修学資金の貸与を行う（公財）新潟医学振興会において、提出された申請書類の確認・審査等を行い、貸与決定します。スケジュール（予定）は次のとおりです。

～2月末頃

申請書類等の審査等

4月上旬頃

貸与決定（貸与決定通知書等を送付）

4月末頃

1回目の修学資金の振込（以降、毎月振込）

留意事項

修学資金貸与者を決定した場合、貸与者の決定状況（貸与決定者の大学名、性別、人数等）を公表することがありますので、あらかじめご承知おきください。

貸与決定後

貸与決定の翌年度以降、学業状況の確認や新年度の貸与手続きのため、学業成績表と現況報告書を毎年提出していただきます。（公財）新潟医学振興会より案内がありますので、指定された期日までに必ず提出してください。

修学資金の返還免除要件等

卒前

在学中は、キャリア形成卒前支援プランに基づき、地域医療実習や個別面談等を行います。

地域医療 実習

新潟県内で夏季休暇等を利用して行う地域医療に関する実習（2～3日間程度）に毎年（1年生～5年生まで）必ず参加すること。

※大学所在地からの旅費は、県の旅費規程に基づき算定した額を、（公財）新潟医学振興会から支給します。

卒後

卒業後は、キャリア形成プログラムに基づき新潟県内で勤務していただきます。

医師免許

大学を卒業した後、2年内に医師の免許を取得すること。

臨床研修

医師免許取得後、直ちに、新潟県内の臨床研修病院で臨床研修に従事すること。

勤務する 医療機関 の指定等

臨床研修修了後、直ちに指定する医療機関に勤務すること。

指定する医療機関は、医師の確保を特に図るべき区域などの病院等となります。
(注1・注2)

ただし、救急医療の確保等特段の理由がある場合は、上記以外の医療機関を指定することがあります。

注1：医師の確保を特に図るべき区域などとは、新潟県医師確保計画に定めた医師少数区域などの地域をいいます。

注2：なお、義務年限に含まれるキャリア形成のための研修（5年目以降の2年間）は、原則として新潟大学医歯学総合病院又は専門研修の基幹施設で行うこととなりますので、この限りではありません。

義務年限

9年間（臨床研修を含む）

< 本コースの修学資金貸与を受けた場合の勤務（義務履行）パターン >

学生	義務履行期間								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
修学	臨床研修 (県内2年間)								

指定する医療機関に勤務（1～2年ごとにローテート）

※キャリア形成のための研修（2年間）を含む

※大学院への進学可能

（ただし、臨床に従事しない期間は義務履行期間に参入されません。）

※一定の要件を満たした場合、義務履行期間内で大学教員や行政医として就業することも可能

※卒業後のキャリアモデル例はFAQの別紙参照

義務年限 の進行の 停止

義務履行期間中の出産、県外・海外研修などやむを得ない理由により指定医療機関等での勤務が困難になった場合は、事前に承認を得ることで義務年限の進行を停止することができます。この場合、停止した期間は義務履行年限には算入されません。

本人の 死亡等

修学中もしくは義務履行期間中に本人が死亡したとき、又は義務履行期間中に業務に起因する心身の故障のため、業務を継続することができなくなったときは、月額貸与金の返済債務の全額を免除します。

貸与の停止・休止・保留

貸与停止

修学生が次の①～⑤のいずれかに該当したときは、以降の貸与を停止します。

- ① 退学したとき。
- ② 心身の故障のため修学を継続する見込がなくなったと認められるとき。
- ③ 学業成績が著しく不良になったと認められるとき。
- ④ 規則等に定められた提出書類を正当な理由なく提出期限までに提出せず、かつ規則等の遵守が期待できないと認められるとき。
- ⑤ その他、修学資金貸与の目的を達成する見込がなくなったと認められるとき。

貸与休止

留年若しくは休学し、又は停学の処分を受けたときは、これに該当する期間の月分の修学資金は貸与しません。

貸与保留

正当な理由がないのに定められた書類等を提出しないときは、当該事由が解消されるまでの間、修学資金の貸与を保留します。

返還

返還が必要な場合

修学生は、次の①～④のいずれかに該当したときは、貸与を受けた修学資金の全額に利息を付した額を、その事由が生じた日から1ヶ月以内に返還しなければなりません。

- ① 修学資金の貸与が停止されたとき（前記「貸与停止」参照）。
- ② 大学を卒業した日から2年以内に医師免許を取得しなかったとき。
- ③ 医師免許を取得後、定められた臨床研修に従事しなかったとき。
- ④ 業務外の事由により臨床研修に従事又は指定医療機関に勤務しなくなったとき。

返還利息

返還利息は、各月の貸与額等について、その交付を受けた日から修学資金の交付を最後に受けた日までの日数に応じ、年10パーセントの割合で算定した額とします。

延滞利息

正当な理由がなく、定める期限までに返還しなかったときは、返還すべき日の翌日から返還の日までの日数に応じ、返還すべき額につき年14.5パーセントの割合で算定した延滞利息が課されます。

返還の一部免除

医師免許取得後、直ちに臨床研修に従事した場合において、その後、義務の履行期間を満了する前に、指定医療機関等に勤務しなくなったときは、修学資金の返還の債務（利息の返還債務を含む。）の一部を免除することができます。

【返還を免除できる額の計算式】

$$\text{返還免除額} = \text{返還総額} \times (\text{従事勤務期間} / \text{義務履行期間})$$

FAQ①（重点コース（新潟大学医学部「新潟県地域枠」））

Q 地域枠学生は、他の学生と違う教育を受けるのですか？

A 新潟大学では、全ての授業、実習について全く同じ内容を学習します。それとは別に、毎年8月に2～3日間程度、他大学地域枠の学生や自治医科大学の学生等と合同で行う夏季実習に参加していただきます。内容としては、病院実習やグループワークなど地域医療を体験するとともに学生同士の交流を深める場となります。

Q キャリア形成卒前支援プランとは何を行うのですか？

A 地域枠等学生の方が、卒業後のキャリアを描けるように支援をすることを目的に、大学の協力を得て策定したものです。卒後のキャリア形成や新潟県内の医療・地域医療・生活等を知っていただくため、本プランに基づき、大学在学中から様々な取組を実施します。具体的には、夏季等に行う地域医療実習や、個別面談などを予定しております。

Q キャリア形成プログラムとは何ですか？

A キャリア形成プログラムとは、地域枠等の方の指定勤務期間、勤務先となる医療機関、取得可能な専門医等の資格、指定勤務の猶予期間（配慮事情）等を記載した大学卒業後の勤務に係るプログラムのことです。大学卒業後は、本プログラムに基づいて、新潟県内で勤務していただくことになります。

Q 卒後2年間の臨床研修はどこで行うのですか？

A 新潟県内の基幹型臨床研修病院で行うことになります。研修プログラムは自由選択であり、他の医学生同様に、医師臨床研修マッチングに参加していただきます。

Q 臨床研修修了後の指定医療機関とは、どのような医療機関ですか？

A 医師の確保を特に図るべき区域などに所在する病院から県が指定します。なお、医師の確保を特に図るべき区域などとは、新潟県医師確保計画に定めた医師少数区域などの地域をいいます。

Q 指定医療機関には、診療所は含まれますか？

A 卒後7～9年目においては、地域の中核病院に勤務しながら、週1回程度、診療所等で勤務するケースも想定されます。

Q 義務履行期間（指定勤務期間）の勤務については、どのようなイメージになりますか？

A 別紙のモデル例のようなイメージになります。一定の要件を満たした場合、義務履行期間内で大学教員や行政医として就業することも可能です。

Q 診療科の選択に制限はありますか？

A 県では、特に地域医療に貢献できる内科・総合診療科等を推奨しますが、将来目指す診療科の選択に制限は設けていません。なお、どの診療科に進むにしても、臨床研修修了後2年間は、地域医療を主体とした医療に従事してもらうことになります（希望診療科への入局自体は可能です）。その後、卒後5年目からは、希望する診療科の医師として大学等で研修（2年間）を積み、残りの義務年限の期間をその診療科の医師として地域の指定医療機関で勤務することになります。

FAQ②（重点コース（新潟大学医学部「新潟県地域枠」））

Q 専門医にはなれますか？

A 専門医を取得する課程は診療科によって多少異なりますが、卒後5年目以降の2年間は、大学等の専門研修基幹施設で研修ができますし、その後も地域で各診療科医師として勤務しますので、9年間の義務年限中に取得することは可能です。

Q 大学院への進学は可能ですか？

A 可能です。

大学院の期間は通常4年になりますが、臨床を離れ実験等の研究に専念する期間については、義務の履行を一時中断し、後に延ばすことで研究期間を取れますし、臨床を行いながらできる期間については、義務の履行を継続しながら、大学等での研修や地域病院での勤務と併せて行うことも考えられます。

また、臨床を行いながら進学できる社会人入学の場合は、義務期間中の勤務をしながら行うことができます。

Q 海外留学や県外研修は可能ですか？

A 可能です。

所属する医局の推薦があり、新潟医学振興会理事長が申請に基づき承認した場合には、指定医療機関での勤務を一時中断して、海外留学等をすることは可能です。

Q 結婚して出産した場合、産前・産後休暇や育児休暇はとれますか？

A 産前・産後休暇については、義務年限内で取得することが可能です。

また、診療に従事せず育児に専念する育児休暇についても、指定医療機関での勤務を一時中断して取得することが可能です。

Q 卒後5年目以降の2年間の研修は、県外の病院で研修することも可能ですか？

A 義務年限の9年間はあくまでも新潟県内の病院に勤務することが条件になりますので、原則として県外で研修を行うことは認められません。どうしても県外の病院で研修をしたい場合は、県外研修として新潟医学振興会理事長が申請に基づき承認した場合に限り、指定医療機関での勤務を一時中断して行うことになります。

Q 「保証人のうち1人を父母兄弟又はこれに代わる方とします」とありますが、もう1人はどのような者が可能でしょうか？

A 本制度は、修学資金の返還を目的とした貸付ではありません。

修学資金の貸与を受けた修学生が、返還免除の義務要件の履行が困難になった際に、本人に代わり返還が可能な方をお願いします。

卒業後のキャリアモデル例(FAQの別紙)

	医学部在学年数						卒後年数（指定勤務期間9年間（貸与6年×1.5））											
年数	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
区分	修学資金貸与(6年間)						臨床研修						指定勤務 (医師少数区域)					
想定される勤務先等	医学部医学科6年間						新潟大学医歯学総合病院 又は県内の臨床研修病院						医師の確保を特に図るべき区域などの病院・ 診療所 ※注1					
研修内容等	1～5年生の間、修学生合同夏季実習に参加し、地域病院を体験						研修プログラムは自由選択 (ただし、3年目以降の勤務を想定した選択が望ましい)						診療科に関わらず、地域医療を主体とした医療に従事し、幅広い診療能力を養成					
配置方針							<ul style="list-style-type: none"> ○ マッチングに参加し、県内の臨床研修病院を本人が選択 						<ul style="list-style-type: none"> ○ 幅広い診療能力を養成できる地域中核病院に配置し、周辺の地域医療病院をサポート ○ 週1日程度の研修日を設けるなど、研修環境に配慮する 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 卒後3～4年目に研修（県内全域）を行うことはできない（総合的な研修を希望する場合を除く） 		
	<ul style="list-style-type: none"> • この間、県外・海外研修や大学院進学も可能 (総合的な研修を希望する場合は3年目から取得可能) ただし、臨床を離れる期間は義務期間に算入しない ※注3 • 大学教員や行政医としての就業は、義務期間内で可能 																	

注1) ただし、救急医療の確保等特段の理由がある場合はこの限りではない。

なお、医師の確保を特に図るべき区域などとは、新潟県医師確保計画に定めた医師少数区域などの地域をいう。

注2) 「原則として」の運用については、「むやみに例外の適用を拡大しないこと」とする。「原則によりがたい」場合は個別に協議する。

注3) 育児休業・介護休業を取得した期間は義務期間に算入しないが、産前産後休暇を取得した期間は義務年限に算入する取扱いとする。

※ 県修学生の配置は、従来の大学からの派遣と同一ではないことを、大学、修学生、配置先病院に対し確認をしていく。

医師養成修学資金貸与規則等

この案内に掲げる医師養成修学資金貸与制度については、本書のほか、医師養成修学資金貸与事業実施規則及び同実施規程（以下「貸与規則等」という。）によります。

貸与規則等は、（公財）新潟医学振興会ホームページ（<http://www.niigata-mf.or.jp/>）及び新潟県ホームページ（掲載ページURL等は下表参照）からご覧いただけます。

掲載ページURL

- 「医師ナビにいがた」サポートページ
<https://www.ishinavi-niigata.jp/support/>

- 「医師ナビにいがた」医師養成修学資金新潟県地域枠紹介ページ
<https://www.ishinavi-niigata.jp/try-for/igakubuchiikiwaku/>



貸与規則等

上記ページの下段「貸与規則等」に掲載されている

- 医師養成修学資金貸与事業実施規則（PDFファイル）
- 医師養成修学資金貸与事業実施規程（PDFファイル）
- 医師養成修学資金貸与事業各種様式（PDFファイル）

によりご確認ください。

修学資金制度についてのお問い合わせ先

修学資金制度の詳細についてのお問い合わせ先は次のとおりです。

※申請書類等の提出先ではありませんのでご注意ください。

< 手続きに関すること >

公益財団法人新潟医学振興会

〒 951-8510 新潟県新潟市中央区旭町通1-757 (新潟大学医学部内)
TEL 025-227-2176 FAX 025-225-5555
Mail medsinko2@med.niigata-u.ac.jp
URL <http://www.niigata-mf.or.jp/>

< 修学資金制度・卒業後のキャリアに関すること >

新潟県 福祉保健部 医師・看護職員確保対策課

〒 950-8570 新潟県新潟市中央区新光町4-1
TEL 025-280-5960 FAX 025-284-0277
Mail ngt040290@pref.niigata.lg.jp
URL <https://www.ishinavi-niigata.jp/>

(別表)

共通テストにおいて経過措置の科目選択を認める教科・科目

【留意事項】

1. 必ず、3ページ～4ページの〔大学入学共通テストで受験を要する教科・科目〕及び〔配点〕等と併せて確認すること。
2. 「地歴・公民」について
 - (1) 新教育課程による出題科目と旧教育課程による出題科目を組み合わせて選択することはできない。
 - (2) 新教育課程による出題科目又は旧教育課程による出題科目のいずれを選択するか及び選択する科目数については、大学入学共通テスト出願時に申請すること。

●医学部医学科

教科	新教育課程	旧教育課程
数学	『数学Ⅰ, 数学A』	『旧数学Ⅰ・旧数学A』
	『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』	『旧数学Ⅱ・旧数学B』
地歴・公民	『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, 『地理総合／歴史総合／ 公共』, 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』から1	『旧世界史B』, 『旧日本史B』, 『旧地理B』, 『旧現代社会』, 『旧倫理』, 『旧政治・経済』, 『旧倫理, 旧政治・経済』から1
情報	『情報Ⅰ』	『旧情報』

令和 8 年 度

入学者選抜要項

令和 7 年 7 月

新潟大学

1 入学定員（募集人員）

学 部	学科・課程	入学定員	募 集 人 員						
			一 般 選 抜		総 合 型 選 択	学校推薦型 選 抜	特 別 選 抜		
			前期日程	後期日程			帰国生徒	社会人	私費外国人 留 学 生
人文学部	人 文 学 科	210人	140人	40人		30人	若干人	若干人	若干人
教育学部	学校教員養成課程	180人	120人			60人	若干人		
法 学 部	法 学 科	170人	85人	35人		50人	若干人		若干人
経済科学部	総合経済学科	350人	180人	80人	30人	60人	若干人	若干人	若干人
理 学 部	理 学 科	200人	125人	30人	5人	40人	若干人		若干人
医 学 部	医 学 科	140人	80人			60人			若干人
	保 健 学 科	160人	90人	18人		52人	若干人	若干人	若干人
	計	300人	170人	18人		112人			
歯 学 部	歯 学 科	40人	24人	8人		8人	若干人		若干人
	口腔生命福祉学科	20人	15人			5人			
	計	60人	39人	8人		13人			
工 学 部	工 学 科	535人	300人	50人	57人	128人	若干人		若干人
農 学 部	農 学 科	175人	111人	30人		34人	若干人		若干人
創生学部	創生学修課程	70人	45人		25人				
合 計		2,250人	1,315人	291人	117人	527人			

※ 医学部医学科の入学定員及び募集人員は、令和8年度医学部臨時定員増に関する文部科学省・厚生労働省への手続き等を医学部医学科において計画しており、現時点では未定であることから、令和7年度入試の状況を記載しています。令和8年度入試における医学部医学科志願者は、令和7年11月公表の学生募集要項（一般選抜・学校推薦型選抜）を確認のうえ、出願してください。

(備考)

- 1 総合型選抜（工学部）の合格者数が募集人員に満たない場合、その生じた欠員分については、学校推薦型選抜Ⅰ型（工学部（専門枠））の募集人員に加えます。
- 2 総合型選抜（経済科学部、理学部、創生学部）及び学校推薦型選抜（各学部）において選抜の結果、欠員が生じた場合は、その欠員分を当該学科（課程）の一般選抜の前期日程の募集人員に加えます。
- 3 帰国生徒特別選抜、社会人特別選抜及び私費外国人留学生特別選抜における募集人員若干人は、当該学科（課程）の入学定員に含みません。ただし、歯学部の帰国生徒特別選抜における募集人員若干人は、一般選抜の前期日程の募集人員に含みます。
- 4 帰国生徒特別選抜（令和8年10月入学）は、人文学部、法学部、経済科学部及び農学部で実施します。選抜方法については、40ページを参照してください。

学部・学科	募集人員	出願要件	備考
経済科学部 総合経済学科	33ページの(*1) 参照	<p>令和8年3月高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）卒業見込みの者（（注）の①、②、③及び④を含む。）で、次の各号に該当し、当該校長が責任をもって推薦するもの。</p> <p>1 学業・人物ともに優れ、経済学・経営学に加え、人文社会科学分野の勉学に意欲のある者 2 学習成績概評がAの者 3 合格した場合は、入学することを確約できる者 （注）① 令和7年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者 ② 令和7年度中に特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者 ③ 令和7年度中に高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者 ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了した者及び修了見込みの者</p>	<p>出願期間 令和7年11月4日(火) ～11月6日(木) (必着)</p> <p>選抜期日 令和7年11月22日(土)</p> <p>合格者発表 令和7年12月18日(木)</p> <p>学生募集要項の公表 令和7年8月上旬</p>
理学部 理学科 プログラムごとの概ねの募集人員は以下のとおりです。 数学プログラム 物理学プログラム 化学プログラム 生物学プログラム 地質科学プログラム 自然環境科学プログラム	10人 7人 7人 5人 5人 6人	<p>令和8年3月高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）卒業見込みの者（（注）の①、②、③及び④を含む。）で、次の各号に該当し、当該校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦するもの。</p> <p>1 学業・人物ともに優れ、理学部のアドミッション・ポリシーに示した「求める学生像」に適合する者 2 合格した場合は、入学することを確約できる者 （注）① 令和7年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者 ② 令和7年度中に特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者 ③ 令和7年度中に高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者 ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了した者及び修了見込みの者</p>	<p>出願期間 令和7年11月4日(火) ～11月6日(木) (必着)</p> <p>選抜期日 (数学、物理学、地質科学、 自然環境科学プログラム) 令和7年11月15日(土)</p> <p>(化学、生物学プログラム) 書類審査のみのため来学する必要はありません。</p> <p>合格者発表 (数学、物理学プログラム) 令和7年12月1日(月)</p> <p>(化学、生物学、地質科学、 自然環境科学プログラム) 令和8年2月10日(火)</p> <p>学生募集要項の公表 令和7年8月上旬</p>
医学部 医学科 ※ 医学部医学科の入学定員及び募集人員は、令和8年度医学部臨時定員増に関する文部科学省・厚生労働省への手続き等を医学部医学科において計画しております、現時点では未定であることから、令和7年度入試の状況を記載しています。	60人 (地域枠 40人を含む。)	<p>【一般枠】……全国の国公私立高等学校（（注1）の②を含む。）を対象とします。</p> <p>令和8年3月高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）卒業見込みの者（（注1）の①及び②を含む。）で、次の各号に該当し、当該校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦するもの。</p> <p>1 学習成績概評がAで、人物も優れ、将来医学の分野で活躍が期待される者 2 合格した場合は、入学することを確約できる者 （注1）① 令和7年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了した者及び修了見込みの者 （注2）当該校長が推薦できる人員は、1校につき20人以内とします。 （注3）新潟県内で将来の医療を担うという強い意志を有する者は、本学医学部医学科学校推薦型選抜【地域枠】との併願ができます。</p>	<p>出願期間 令和7年11月（予定）</p> <p>選抜期日 令和7年12月上旬 (予定)</p> <p>合格者発表 令和8年2月10日(火)</p> <p>学生募集要項の公表 令和7年11月（予定）</p>

学部・学科	募集人員	出願要件	備考
		<p>【地域枠】 令和4年4月から令和7年3月までに高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者（以下「既卒者」という。）及び、令和8年3月卒業見込みの者（令和7年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込み者」という。）で、次の各号に該当し、当該校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦するもの。</p> <p>1 学習成績概評がAで、人物も優れ、新潟県内で将来の医療を担うという強い意志を有する者 2 合格した場合は、入学することを確約できる者 新潟県が設定する修学資金を受給するとともに、医師免許取得後、直ちに、新潟大学医歯学総合病院又はそれ以外の県内臨床研修病院で卒後臨床研修に従事し、引き続き新潟県が指定した医療機関に勤務（卒後臨床研修を含み9年間）することを確約できる者 (注) 当該校長が推薦できる人員は、1校につき30人以内とします。 (内訳) 卒業見込み者：一般枠を含め20人以内 既卒者：10人以内</p>	<p>【一般枠】と【地域枠】を併願した者は【一般枠】を優先して選抜し、【一般枠】で合格とならなかった場合、【地域枠】として選抜の対象になります。</p> <p>ただし、【一般枠】と【地域枠】を併願する場合、希望する者は【地域枠】を優先して選抜します。</p> <p>新潟県では将来、新潟県内の地域医療を担おうとする気概と情熱に富んだ医学生に対し、奨学金を貸与し、修学支援を行っています。地域枠の入学者に対しては、新潟県医師養成修学資金貸与制度「重点コース（新潟大学医学部「新潟県地域枠」）」を設け、修学支援を行っています。</p>
医学部 保健学科 看護学専攻 放射線技術科学専攻 検査技術科学専攻	28人 12人 12人	<p>令和8年3月高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業見込みの者（(注1)の①、②、③及び④を含む。）で、次の各号に該当し、当該校長が責任をもって推薦するもの。</p> <p>1 各専攻において次の学習に熱意のある者 看護学専攻………看護学の学習に熱意のある者 放射線技術科学専攻………放射線技術科学の学習に熱意のある者 検査技術科学専攻………検査技術科学の学習に熱意のある者 2 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 3 合格した場合は、入学することを確約できる者 (注1) ① 令和7年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者 ② 令和7年度中に特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者 ③ 令和7年度中に高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者 ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了した者及び修了見込みの者 (注2) 当該校長が推薦できる人員 ・普通科（理数科等を含む。）においては、看護学専攻は、1校につき2人以内、放射線技術科学専攻及び検査技術科学専攻についてはそれぞれ1校につき1人とします。 ・職業教育を主とする学科及び総合学科においては、各専攻とも1校につき2人以内とします。 ただし、看護学専攻においては、准看護師の受験資格を得ることができる学科の場合は、さらに当該学科から1人推薦できるものとします。</p>	<p>出願期間 令和7年11月4日(火) ～11月6日(木) (必着)</p> <p>選抜期日 令和7年11月21日(金)</p> <p>合格者発表 令和7年12月11日(木)</p> <p>学生募集要項の公表 令和7年8月上旬</p>

学部・学科等名		大学入学共通テストの利用教科・科目名		本学が実施する試験		試験の区分		大学入学共通テスト				本学が実施する試験等						
学部	学科	教科	科目名	本学が実施する試験	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	課題	実技検査	基礎学力試験	面接	書類審査	配点合計
医学部	医学科	国数理外	「国語」必須 「數I、數II、數B、效C」必須 「物」「英」「地」、「生」「社」「公」から1 「地総」、「地探」、「歴総」、「日探」、「地総／歴総」、「公」から1 「公・倫」、「公」、「政・経」から1 「情報I」必須	面接書類審査	共通テスト 本学が実施する試験等	100 50	200 200	200 200	50 50								800	
		保健学科	看護専攻 放射線技術科学 専攻	〔6教科8科目〕 「共通テストは課さない」	小論文 面接書類審査	本学が実施する試験等	100 50	200 200	200 200	50 50						5段階 ○	800	
			検査技術科学専攻	「共通テストは課さない」	小論文 (基礎学力に関する口頭試問を含む) 書類審査	本学が実施する試験等							小論文 100		100 ○	200		
				「共通テストは課さない」	小論文 面接書類審査	本学が実施する試験等							小論文 60		90 ○	150		
													小論文 100		100 ○	200		

※1 「地総／歴総／公」を選択する場合は、3つの出題範囲（「地理総合」、「歴史総合」、「公共」）のうち、2つを選択解答すること。

※2 「○」は当該試験を課すことを示す。

科目名／Course Title	早期医学体験実習(EME)／Early Medical Exposure		
担当教員／Instructor	岡崎 史子		
対象学年／Eligible grade	1	開講番号／Registration	250M1101
講義室／Classroom	別途お知らせ	開講学期／Semester・Term	2025年度／Academic Year 第1学期／the former semester
曜日・時限／Class Period	他/Oth. 0	単位数／Credits	1単位
授業形態／Class Format	実習	科目区分／Category 細区分／Sub-division	医歯学／Medicine and Dentistry 医学／Medicine
副専攻／Minor		定員／Capacity	140
分野／Academic Field	81:臨床医学	水準／Academic Standard	13:当該学部(学科)のみ・大学基礎水準
実務経験を有する教員が実施する科目／Conducted by instructor with work experience related to the field?	○	遠隔授業の実施形態／Remote Class Style	
対象学部等／Eligible Faculty	医学部医学科1年次生		
聽講指定等／Designated Students	医学部医学科1年次生		
科目の概要／Course Outline	<p>・医学部での学習の開始にあたり、地域社会における医療の役割を学ぶために、主に新潟県内(新潟市、長岡市、燕市、三条市等)の医療機関などで実習を行う。</p> <p>・オリエンテーションおよび総括については臨床医学に関する実務経験を有する教員が実施する。</p>		
科目のねらい／Course Objectives	<p>・医学学習の開始にあたり、医療の現場に接し、地域社会における医療の役割や重要性を理解する。</p> <p>・多職種連携のあり方について知る。</p> <p>・医学生として、臨床現場での立ち居振る舞いを実践する。</p>		
学習の到達目標／Specific Learning Objectives	<p>①医療安全、感染対策に関する知識を理解し、医療施設見学において実践することができる。</p> <p>②各医療分野のスタッフの職務内容とスタッフ間の連携について、説明することができる。</p> <p>③実習の現場で礼儀正しく行動することができる。</p> <p>④実習の現場で接する人々と良好なコミュニケーションを保つことができる。</p> <p>⑤グループ学習を効率良く行うことができる。</p> <p>⑥実習内容について、簡潔にわかりやすく発表することができる。</p> <p>⑦発表された事項の意義や問題点について、自らの意見や考えを明瞭に述べることができる。</p>		
登録のための条件(注意)／Prerequisites	この科目は医学部医学科1年次生の必修科目です。		
授業実施形態について／Class Format	<p>・講義、実習</p> <p>・グループ討論と発表</p>		
成績評価の方法と基準／Grading Criteria	実習指導者からの態度評価(25%)、自己評価(25%)、レポート評価(50%)。 以下の場合には単位を認定しない。		
	<p>・ガイダンスや実習への無断の遅刻・欠席(遅刻した場合は実習への参加を認めない)。</p> <p>・医療機関での実習で、スタッフの業務を妨げる行為があった場合は、実習を中止する(そのような行為であったかどうかは医学教育センター副センター長が判断する)。</p> <p>・実習先からのコメントによっては、教員と面談する場合がある。面談に応じない場合は単位を認定しない。</p>		
使用テキスト／Textbooks	特になし		

関連リンク／Related Links	新潟県地域医療構想 https://www.pref.niigata.lg.jp/uploaded/attachment/297356.pdf
参考文献／References	
キーワード／Keywords	★多職種連携協働、地域医療
備考／Notes	この実習が、地域の医療機関、そこで働くスタッフ、そこにいらっしゃる患者さんのご好意により成り立っていることを、深く胸に刻むこと。

授業計画詳細／Course

No	内容	授業時間外の学修	備考
1	<ul style="list-style-type: none"> ・8月後半の5日間(8/18~8/22) ・ガイダンスや実習の詳細については、7月中に学務情報システムで通知するので、必ず確認すること。 ・<スケジュール> 1日目(8/18) :ガイダンス 2~4日目(8/19~8/21) :割り当てられた施設での実習 5日目(8/22) :発表会のスケジュールを予定している。 (1日目、5日目は実務経験のある教員による演習である)。 ・事後に今回の学びに関してA4、1枚程度のレポートを課す。レポートは感想文ではなく、実習での体験を深く省察していることが求められる。学年相当でないと判断した場合は書き直しを求める場合がある。レポートは、実習を引き受けて頂いた施設のスタッフへ送付する予定であり、個人情報の取り扱いには十分に注意すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上記関連リンクを参照し、新潟県の地域医療の課題を知る(初日のオリエンテーションで知識の確認を行う)。 ・その他の詳細は7月中に学務情報システムで通知するので、必ず確認すること。 ・早期体験実習は1単位であり45時間の学修を必要とする。講義、実習、グループ討論は35時間であり、10時間程度の自己学習を求める。 	

科目名／Course Title	臨床実習ⅠA／Bedside learning ⅠA		
担当教員／Instructor	川島 寛之		
対象学年／Eligible grade	4	開講番号／Registration	250M1408
講義室／Classroom	別途お知らせ	開講学期／Semester・Term	2025年度／Academic Year 第2学期／the latter semester
曜日・時限／Class Period	他/Oth. 0	単位数／Credits	7単位
授業形態／Class Format	実習	科目区分／Category 細区分／Sub-division	医歯学／Medicine and Dentistry 医学／Medicine
副専攻／Minor	「アグロ・フードアソシエーツ」、「ことつくり・マネジメント」、「コミュニティ・マネジメント」	定員／Capacity	133
分野／Academic Field	81:臨床医学	水準／Academic Standard	15:当該学部(学科)のみ・発展内容 科目大学院接続水準
実務経験を有する教員が実施する科目／Conducted by instructor with work experience related to the field?	○	遠隔授業の実施形態 ／Remote Class Style	
対象学部等／Eligible Faculty			
聽講指定等／Designated Students			
科目的概要／Course Outline			
Student doctorとして各臨床科目で実習を行い、これまでに学んだ医学的知識と技能をさらに深める 本科目は、臨床医学に関する実務経験を有する教員が、その実務経験を十分に授業に活かした実践的教育を行います。			
科目的ねらい／Course Objectives			
実際の医療現場で、全人的医療を実践するために必要な各臨床科目の基本的知識、問題解決能力、技能および態度を修得する。			
学習の到達目標／Specific Learning Objectives			
指導医の指導・監督の下、ガイドラインに沿った侵襲性の低い医療行為を患者さんの同意のもとに行い、実践を重ねながら初步的な臨床問題を解決できる。			
登録のための条件(注意)／Prerequisites			
授業実施形態について／Class Format			
対面式実習			
成績評価の方法と基準／Grading Criteria			
各科ごとにシラバス参照			
使用テキスト／Textbooks	各科目で指定した冊子・テキストを使用		
関連リンク／Related Links			
参考文献／References			

キーワード／Keywords	★
備考／Notes	

授業計画詳細／Course

No	内容	授業時間外の学修	備考
1	2026年1月5日～3月27日	実習科目についての予習・復習	

科目名／Course Title	臨床実習ⅠB／Bedside learning ⅠB		
担当教員／Instructor	川島 寛之		
対象学年／Eligible grade	5	開講番号／Registration	250M1501
講義室／Classroom	別途お知らせ	開講学期／Semester・Term	2025年度／Academic Year 第1学期／the former semester
曜日・時限／Class Period	他/Oth. 0	単位数／Credits	15単位
授業形態／Class Format	実習	科目区分／Category 細区分／Sub-division	医歯学／Medicine and Dentistry 医学／Medicine
副専攻／Minor	「アグロ・フードアソシエーツ」、「ことつくり・マネジメント」、「コミュニティ・マネジメント」	定員／Capacity	127
分野／Academic Field	81:臨床医学	水準／Academic Standard	15:当該学部(学科)のみ・発展内容 科目大学院接続水準
実務経験を有する教員が実施する科目／Conducted by instructor with work experience related to the field?	○	遠隔授業の実施形態 ／Remote Class Style	
対象学部等／Eligible Faculty			
聽講指定等／Designated Students			
科目的概要／Course Outline			
Student doctorとして各臨床科目で実習を行い、これまでに学んだ医学的知識と技能をさらに深める 本科目は、臨床医学に関する実務経験を有する教員が、その実務経験を十分に授業に活かした実践的教育を行います。			
科目的ねらい／Course Objectives			
実際の医療現場で、全人的医療を実践するために必要な各臨床科目の基本的知識、問題解決能力、技能および態度を修得する。			
学習の到達目標／Specific Learning Objectives			
指導医の指導・監督の下、ガイドラインに沿った侵襲性の低い医療行為を患者さんの同意のもとに行い、実践を重ねながら初步的な臨床問題を解決できる。			
登録のための条件(注意)／Prerequisites			
授業実施形態について／Class Format			
対面式実習			
成績評価の方法と基準／Grading Criteria			
各科ごとにシラバス参照			
使用テキスト／Textbooks	各科目で指定した冊子・テキストを使用		
関連リンク／Related Links			
参考文献／References			

キーワード／Keywords	★
備考／Notes	

授業計画詳細／Course

No	内容	授業時間外の学修	備考
1	2025年4月7日～7月25日	実習科目についての予習・復習	

科目名／Course Title	臨床実習 I C／Bedside learning I C		
担当教員／Instructor	川島 寛之		
対象学年／Eligible grade	5	開講番号／Registration	250M1502
講義室／Classroom	別途お知らせ	開講学期／Semester・Term	2025年度／Academic Year 第2学期／the latter semester
曜日・時限／Class Period	他/Oth. 0	単位数／Credits	15単位
授業形態／Class Format	実習	科目区分／Category 細区分／Sub-division	医歯学／Medicine and Dentistry 医学／Medicine
副専攻／Minor	「アグロ・フードアソシエーツ」、「ことつくり・マネジメント」、「コミュニティ・マネジメント」	定員／Capacity	127
分野／Academic Field	81:臨床医学	水準／Academic Standard	15:当該学部(学科)のみ・発展内容 科目大学院接続水準
実務経験を有する教員が実施する科目／Conducted by instructor with work experience related to the field?	○	遠隔授業の実施形態／Remote Class Style	
対象学部等／Eligible Faculty			
聽講指定等／Designated Students			
科目的概要／Course Outline			
Student doctorとして各臨床科目で実習を行い、これまでに学んだ医学的知識と技能をさらに深める 本科目は、臨床医学に関する実務経験を有する教員が、その実務経験を十分に授業に活かした実践的教育を行います。			
科目的ねらい／Course Objectives			
実際の医療現場で、全人的医療を実践するために必要な各臨床科目の基本的知識、問題解決能力、技能および態度を修得する。			
学習の到達目標／Specific Learning Objectives			
指導医の指導・監督の下、ガイドラインに沿った侵襲性の低い医療行為を患者さんの同意のもとに行い、実践を重ねながら初步的な臨床問題を解決できる。			
登録のための条件(注意)／Prerequisites			
授業実施形態について／Class Format			
対面式実習			
成績評価の方法と基準／Grading Criteria			
各科ごとにシラバス参照			
使用テキスト／Textbooks	各科目で指定した冊子・テキストを使用		
関連リンク／Related Links			
参考文献／References			

キーワード／Keywords	★
備考／Notes	

授業計画詳細／Course

No	内容	授業時間外の学修	備考
1	2025年9月1日～12月12日	実習科目についての予習・復習	

科目名／Course Title	臨床実習 II A(clinical clerkship)／Bedside learning II A(clinical clerkship)					
担当教員／Instructor	川島 寛之					
対象学年／Eligible grade	5	開講番号／Registration	250M1503			
講義室／Classroom	別途お知らせ	開講学期／Semester・Term	2025年度／Academic Year 第2学期／the latter semester			
曜日・時限／Class Period	他/Oth. 0	単位数／Credits	7単位			
授業形態／Class Format	実習	科目区分／Category 細区分／Sub-division	医歯学／Medicine and Dentistry 医学／Medicine			
副専攻／Minor		定員／Capacity	127			
分野／Academic Field	81:臨床医学	水準／Academic Standard	15:当該学部(学科)のみ・発展内容 科目大学院接続水準			
実務経験を有する教員が実施する科目／Conducted by instructor with work experience related to the field?	○	遠隔授業の実施形態／Remote Class Style				
対象学部等／Eligible Faculty						
聽講指定等／Designated Students						
科目的概要／Course Outline						
対象領域を絞り、より専門的かつ実践的な臨床実習を行う。 本科目は、臨床医学に関する実務経験を有する教員が、その実務経験を十分に授業に活かした実践的教育を行います。						
科目的ねらい／Course Objectives						
患者と接する医療現場において、翌年医師として全人的医療を実践するために必要な、患者、医師、他職種医療スタッフとのコミュニケーション能力、身体診察法、臨床推論、問題解決、治療計画、プレゼンテーションなどの基本的臨床技能と態度を修得する。						
学習の到達目標／Specific Learning Objectives						
新潟大学医学部医学科のアウトカムである以下の8項目に到達する						
1. 患者・家族および医療従事者間で適切なコミュニケーションをとることができる 2. 医学に関する知識を有し、実践に応用できる 3. 患者・利用者の価値観や拝見を理解し、個別性を尊重できる。プロフェッショナルにふさわしい倫理観をもち、礼節ある態度を示すことができる。 4. 基本的な診療を指導医の監督下で実践できる 5. 保険・医療・福祉に関する制度や業務を理解し、その改善に貢献できる 6. 国際的な視野をもちつつ、地域の実情に合った医療を実践できる 7. 基礎・臨床研究に興味をもち、自ら問題を発見し、論理的思考で問題解決をはかることができる 8. 生涯にわたり自ら学ぶ態度をもち、自己研鑽を続けることができる						
登録のための条件(注意)／Prerequisites						
授業実施形態について／Class Format						
対面式実習						
成績評価の方法と基準／Grading Criteria						
各科ごとにシラバス参照						
使用テキスト／Textbooks	各科目で指定した冊子・テキストを使用					

関連リンク／Related Links	
参考文献／References	
キーワード／Keywords	★
備考／Notes	

授業計画詳細／Course

No	内容	授業時間外の学修	備考
1	2026年1/5-1/9アカリキュラムに基づいた症候学授業を実施	臨床実習Ⅰの復讐	
2	2026年1/13-3/6	実習科目についての予習・復習	

科目名／Course Title	臨床実習 II B (clinical clerkship)／Bedside learning II B (clinical clerkship)					
担当教員／Instructor	川島 寛之					
対象学年／Eligible grade	6	開講番号／Registration	250M1601			
講義室／Classroom	別途お知らせ	開講学期／Semester・Term	2025年度／Academic Year 第1学期／the former semester			
曜日・時限／Class Period	他/Oth. 0	単位数／Credits	15単位			
授業形態／Class Format	実習	科目区分／Category 細区分／Sub-division	医歯学／Medicine and Dentistry 医学／Medicine			
副専攻／Minor		定員／Capacity	127			
分野／Academic Field	81:臨床医学	水準／Academic Standard	15:当該学部(学科)のみ・発展内容 科目大学院接続水準			
実務経験を有する教員が実施する科目／Conducted by instructor with work experience related to the field?	○	遠隔授業の実施形態／Remote Class Style				
対象学部等／Eligible Faculty						
聽講指定等／Designated Students						
科目的概要／Course Outline						
対象領域を絞り、より専門的かつ実践的な臨床実習を行う。 本科目は、臨床医学に関する実務経験を有する教員が、その実務経験を十分に授業に活かした実践的教育を行います。						
科目的ねらい／Course Objectives						
患者と接する医療現場において、翌年医師として全人的医療を実践するために必要な、患者、医師、他職種医療スタッフとのコミュニケーション能力、身体診察法、臨床推論、問題解決、治療計画、プレゼンテーションなどの基本的臨床技能と態度を修得する。						
学習の到達目標／Specific Learning Objectives						
新潟大学医学部医学科のアウトカムである以下の8項目に到達する						
1. 患者・家族および医療従事者間で適切なコミュニケーションをとることができる 2. 医学に関する知識を有し、実践に応用できる 3. 患者・利用者の価値観や好みを理解し、個別性を尊重できる。プロフェッショナルにふさわしい倫理観をもち、礼節ある態度を示すことができる。 4. 基本的な診療を指導医の監督下で実践できる 5. 保険・医療・福祉に関する制度や業務を理解し、その改善に貢献できる 6. 国際的な視野をもちつつ、地域の実情に合った医療を実践できる 7. 基礎・臨床研究に興味をもち、自ら問題を発見し、論理的思考で問題解決をはかることができる 8. 生涯にわたり自ら学ぶ態度をもち、自己研鑽を続けることができる						
登録のための条件(注意)／Prerequisites						
授業実施形態について／Class Format						
対面式実習						
成績評価の方法と基準／Grading Criteria						
各科ごとにシラバス参照						
使用テキスト／Textbooks	各科目で指定した冊子・テキストを使用					

関連リンク／Related Links	
参考文献／References	
キーワード／Keywords	★
備考／Notes	

授業計画詳細／Course

No	内容	授業時間外の学修	備考
1	2025年4月7日～8月1日	実習科目についての予習・復習	

2024-2025 年度

臨 床 実 習 I 概 要

医学科 4 , 5 年次学生用

(2025 年 1 月 ~ 12 月)

新潟大学医学部医学科

コース「臨床実習Ⅰ」(必修) 概要

学習の条件 :

共用試験(CBT・OSCE)に合格し、臨床医学の初步的知識と臨床に必要な基本的技能と態度を修得した学生

4、5年次、120名

4年次 第2学期：臨床実習ⅠA、5年次 第1学期：臨床実習ⅠB、

5年次 第2学期：臨床実習ⅠC

到達目標 :

実際の医療に接する場で、全人的医療を実践するために必要な各臨床科目の基本的知識、問題解決能力、技能および態度を修得する。

コース :

各臨床科コース

1班9名ないし8名、計14班で各コースをローテーション、計25コース

(ローテーションは、ローテーション表参照、班分け表は別途配付)

4年次 第2学期 12週、5年次 第1学期 15週、5年次 第2学期 15週、

計 42週

内科系①	内科系②	内科系③		外科系①		外科系②		外科系③		専門系①		専門系②		専門系③		専門系④		小児科	産科婦人科学	精神医学	
循環器内科学	血液・内分泌・代謝内科学	消化器内科学	腫瘍内科学	腎・膠原病内科学	呼吸器・感染症内科学	脳神経内科学	地域医療内科学	消化器・総合診療学	小児外科学	心臓血管外科・一般外科学	脳神経外科学	整形外科・呼吸器外科学	形成外科学	泌尿器科学	放射線医学	皮膚科学	耳鼻咽喉科学	麻酔科学	眼科	救急医学	臨床病理学

ローテーション基本情報 :

(1) 内科系①

- ◇3週のうち各科 1.5週ずつ全員で実習、2週目水曜日の昼で切り替え
- ◇前半：血液・内分泌・代謝内科、後半：循環器内科

(2) 内科系②

- ◇第1週目は腫瘍内科実習
- ◇第2,3週は消化器内科実習

(3) 内科系③

- ◇2班約20名が6週の実習を行う。
- ◇(腎・膠原病内科学、呼吸器・感染症内科学)、神経内科学、(総合診療学、地域医療学)をそれぞれ3グループに分かれ2週ずつローテーションする。
グループの編成方法は内科系③班編制を参照

(4) 外科系①

- ◇3グループに分かれて1週毎にローテーションする。グループの編成方法はコース概要参照

(5) 外科系②

- ◇実習初日は全員が胸部外科に集合。
- ◇実習2日目以降は2グループに分かれ各科で実習を行う。2週目木曜日の朝で切り替え

(6) 外科系③

- ◇実習初日から3グループに分かれ整形外科・形成外科をローテーションする。グループの編成方法はコース概要参照

(7) 専門系①

- ◇実習初日は、8:30に、全員が東研究棟5F泌尿器科医局集会室に集合。
前半2週((第1週月曜日～第2週金曜日まで)が泌尿器科学
後半1週((第3週月曜日～金曜日)が放射線医学
- ◇詳細はコース概要参照。

(8) 専門系②

◇学生番号の前半 5 名は、1 週目皮膚科、2 週目耳鼻科、残りの学生は 1 週目耳鼻科、2 週目皮膚科で実習を行う。3 週目は選択となるため、班内で 5 名ずつ決定の上、代表者が 2 週目の最終日（通常は金曜日）の午前中までに、担当教官または各医局事務室まで伝え、翌週の集合時間などを確認すること。

(9) 専門系③

◇3 週のうち、1 週目は眼科、2 週目は麻酔科、3 週目は 2 グループに分かれ各科で実習を行う。

(10) 専門系④

◇第 1 週～第 2 週が救急医学

◇第 3 週が臨床病理学

(11) 小児科学

◇実習を 3 週行う。詳細はコース概要参照。

(12) 産科婦人科学

◇実習を 3 週行う。詳細はコース概要参照。

(13) 精神医学

◇実習を 3 週行う。詳細はコース概要参照。

令和6年度(2024年度) 第4年次「臨床実習Ⅰ」スケジュール (2025.1.6~2025.3.28)

科 目 期 間	外科系②	専門系④	内科系①	外科系③	専門系②	専門系①	専門系③	内科系②	外科系①	小 儿 科 学	産 科 婦 人 科 学	精 神 科	内 科 系 ③												
	心臓血管外 科・脳神経外 科	脳神経外 科	救急医学	臨床病 理学	循環器内 科	血液・内 分泌・代 謝内 科	整形外 科	形成外 科	皮膚科	耳鼻咽喉科	放射線医 学	泌尿器科	麻酔科学	眼科学	消化器内 科	腫瘍内 科	消化器外 科	小児外 科	小児科	産科婦人科	精神科	内 科 系 ③	脳神經内 科	腎呼 吸器 原病 内科	呼 吸器 原病 内科
1/6 ~ 1/10																									
1/14 ~ 1/17	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14													
1/20 ~ 1/24																									
1/27 ~ 1/31																									
2/3 ~ 2/7	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	3													
2/10 ~ 2/14																									
2/17 ~ 2/21																									
2/25 ~ 2/28	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	1	2													
3/3 ~ 3/7																									
3/10 ~ 3/14																									
3/17 ~ 3/21	6	7	8	9	10	11	12	13	14	1	2	5													
3/24 ~ 3/28																									

第6年次
臨床実習II
スケジュール
(2025.1.14~8.1)

症候学講義 1/6~1/10

第1クール
1/14~2/7

第2クール
2/10~3/7

補講・春季休業

令和7年度(2025年度) 第5年次「臨床実習Ⅰ」スケジュール (2025.4.7~2024.12.12)

4/7 ~ 4/11																									
4/14 ~ 4/18	7	8	9	10	11	12	13	14	1	2	3	4													
4/21 ~ 4/25																									
4/28 ~ 5/2																									
5/12 ~ 5/16	8	9	10	11	12	13	14	1	2	3	4	7													
5/19 ~ 5/23																									
5/26 ~ 5/30																									
6/2 ~ 6/6	9	10	11	12	13	14	1	2	3	4	5	6													
6/9 ~ 6/13																									
6/16 ~ 6/20																									
6/23 ~ 6/27	10	11	12	13	14	1	2	3	4	5	6	9													
6/30 ~ 7/4																									
7/7 ~ 7/11																									
7/14 ~ 7/18	11	12	13	14	1	2	3	4	5	6	7	8													
7/22 ~ 7/25																									
7/28 ~ 8/1																									
8/4 ~ 8/29																									
9/1 ~ 9/5	12	13	14	1	2	3	4	5	6	7	8	11													
9/8 ~ 9/12																									
9/16 ~ 9/19																									
9/22 ~ 9/26																									
9/29 ~ 10/3	13	14	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10													
10/6 ~ 10/10																									
10/14 ~ 10/17																									
10/20 ~ 10/24	14	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	13													
10/27 ~ 10/31																									
11/4 ~ 11/7																									
11/10 ~ 11/14	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12													
11/17 ~ 11/21																									
11/25 ~ 11/28																									
12/1 ~ 12/5	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1													
12/8 ~ 12/12																									

※5/7~5/9は実習なし

コース「地域医療学 臨床実習Ⅰ」

到達目標：

全人的医療と地域医療の社会性を理解し、地域医療に積極的に貢献できる医師となるために、地域医療の特徴を理解し、地域における包括的医療、地域包括ケアシステムを実践するために必要な知識と基本的な技術・態度を修得する。

アウトカム：当科の臨床実習を修了すると、学生は以下のことができる

- ・地域の地勢について説明できる。
- ・地域中核病院と地域医療機関（診療所を含む）、行政機関の連携の実際について説明できる。
- ・近隣の医療機関と地域行政機関・福祉関係諸機関との連携の実際について説明できる。
- ・地域包括ケアシステムの概念について説明できる。
- ・介護保険、医療保険との役割分担を説明できる。
- ・地域医療機関における多職種連携・チーム医療について説明できる。
- ・地域医療における健康増進活動について説明できる。

ユニット：

- ① 地域医療機関での外来・病棟実習
- ② 近隣の医療機関・介護施設などでの在宅医療・ケアに関する実習
- ③ 地域医療機関における多職種連携・チーム医療に関する実習
- ④ 地域包括ケアシステムに関する実習
- ⑤ 遠隔医療・健康増進活動実習

注意事項：

- 1) 本実習は、地域医療の第一線で活躍している地域医療機関・診療所・介護保険施設の医師・看護師をはじめとするスタッフの方々、および地域住民の方々からの多大なご協力により、実施しているものであることを各自よく理解し、実習に臨むこと。
- 2) 本実習は、総合診療学の実習と連動しており、途中で学生を入れ替えていく。その概要は医学科4年次の「臨床実習入門ユニット：地域医療」の際

に予定表として示す。詳細については事前オリエンテーションの際、個別に示す。

- 3) 総合診療学と併せて約10日間にわたる実習であり、かつ新潟市を離れた遠隔地（魚沼地域・他）での実習である。
- 4) 新潟大学医学部医学科学生として節度ある態度で実習に臨み、医学生の本分を外れないようにすること。特に、臨床実習の共通注意事項を遵守すること。
- 5) 「総合診療・地域医療実習」の前々週の金曜夕方17時（予定）に、地域医療確保・地域医療課題解決支援講座 地域医療分野（総合研究棟7階）にて、実習先へ配布するための顔写真の撮影とプロフィール記載をおこなう。同時に、実習先の決定・実習ファイルの配布もおこなうので、必ず集合すること。ただし、事前オリエンテーションは他科の実習期間中にあたるため、スケジュールが重なる場合は実習中の科を最優先とし、予め下記の＜連絡先＞へ連絡を入れること。

※祝日や長期休暇の前後にあたっては変則的になる場合があるので、次頁の予定表、並びに学務情報システムによる連絡をよく確認すること。

- 6) 実習初日は、地域医療確保・地域医療課題解決支援講座 地域医療分野にて、出発前オリエンテーション等をおこなう。実習ファイルを必ず持参すること。
- 7) 出発前オリエンテーション等終了後、各自指定の場所へ、指定の時間に遅れないように、自力で移動すること。ただし、各実習拠点病院（小出病院・湯沢町保健医療センター・南魚沼市民病院）から周辺施設等への移動については、スタッフの指示に従うこと。
- 8) 実習期間に祝日や長期休暇を含む場合は、実習日程が変則的になることがある。予定のある学生は早めに教員に相談すること。
- 9) 実習終了後、期限までに地域実習のレポート（Google フォーム）を提出すること。

評価方法：

医学生は現地の指導医だけでなく多職種によりその態度について360°C評価を受ける。最終的に提出されたレポート、多職種評価、後述するマイナス評価がないことなどを加味して総合的に評価する。

無断の遅刻、欠席、虚偽の報告などアンプロフェッショナルと判断した場合はマイナス評価となり、場合によっては単位認定をしない。

<連絡先>

地域医療確保・地域医療課題解決支援講座

地域医療分野 新潟
小出分室

[REDACTED]
[REDACTED]

<メモ>

5)※総合診療・地域医療実習 事前オリエンテーションの予定

変更の可能性もあるため、学務情報システムによる連絡をよく確認すること。

内科系③ グループ	事前 オリエンテーション日	実習	
		開始日	終了日
1/2-C 班	2024年12月20日(金)17:30-	1月6日	1月17日
1/2-B 班	1月10日(金)	1月20日	1月31日
1/2-A 班	1月24日(金)	2月3日	2月14日
3/4-C 班	2月7日(金)	2月17日	2月28日
3/4-B 班	2月21日(金)	3月3日	3月14日
3/4-A 班	3月7日(金)	3月17日	3月28日
5/6-C 班	3月21日(金)	4月7日	4月18日
5/6-B 班	4月11日(金)	4月21日	5月2日
5/6-A 班	4月25日(金)	5月12日	5月23日
7/8-C 班	5月16日(金)	5月26日	6月6日
7/8-B 班	5月30日(金)	6月9日	6月20日
7/8-A 班	6月13日(金)	6月23日	7月4日
9/10-C 班	6月27日(金)	7月7日	7月18日
9/10-B 班	7月11日(金)	7月21日	8月1日
9/10-A 班	7月25日(金)	9月1日	9月12日
11/12-C 班	9月5日(金)	9月22日	10月3日
11/12-B 班	9月19日(金)	10月6日	10月17日
11/12-A 班	10月10日(金)	10月20日	10月31日
13/14-C 班	10月24日(金)	11月4日	11月14日
13/14-B 班	11月7日(金)	11月17日	11月28日
13/14-A 班	11月21日(金)	12月1日	12月12日

◎集合場所：地域医療確保・地域医療課題解決支援講座 地域医療分野

(総合研究棟（1階に学務がある建物）7階)

◎時間：17:00 開始・18:30 終了予定

※ただし、事前オリエンテーションは他科の実習期間中にあたるため、スケジュールが重なる場合は実習中の科を最優先とし、予め前頁の＜連絡先＞へ連絡を入れること。

ユニット① 地域医療機関での外来・病棟実習

担当教員：井口清太郎、金子昌弘、今西 明、永井明日香

協力施設：魚沼市立小出病院、湯沢町保健医療センター、南魚沼市民病院、町立津南病院、他

到達目標：

地域医療機関における医療に積極的に参加するために、地域医療機関の特性を理解し、そこで医療を行うために必要な情報と基本的な技術・態度を修得する。

アウトカム：

1. 地域の地勢について説明できる。
2. 地域医療機関における医療状況（生活背景、疾病構造など）について説明できる。
3. 地域中核病院と地域医療機関の連携の実際について説明できる。
4. 近隣の診療所と地域医療機関の連携の実際について説明できる。
5. 地域における行政、医療機関との連携について説明できる。
6. 病院食について説明できる。

方略：

1. 病院の施設、電子カルテの使用方法などについて説明を受ける。
2. 担当患者の主治医意見書を作成する。（ユニット④とも関係する）
3. 病棟の内科回診に帯同し、地域医療機関に特有な生活背景、疾病構造、社会状況を把握する。
4. 地域医療機関外来で、待合室実習、新患外来実習を行う。
5. 地域医療機関外来の診察を見学する。

ユニット② 近隣の医療機関・介護施設などでの在宅医療・ケアに関する実習

担当教員：井口清太郎、金子昌弘、今西 明、永井明日香

協力施設：近隣の医療機関、在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、他

到達目標：

地域医療を支える近隣の医療機関および居宅介護支援事業所の実際を把握するために、診療や看護に直接参加し、在宅医療・ケアにおける必要な知識、技能及び態度を修得する。

アウトカム：

1. 地域の医療状況（生活背景、疾病構造など）について説明できる。
2. 近隣の医療機関と地域行政機関・福祉関係諸機関との連携の実際について説明できる。
3. 地域医療機関との連携について説明できる。
4. 地域包括ケアシステムの概念について説明できる。
5. 訪問看護・訪問診療・訪問リハビリ・訪問薬剤指導など訪問系のサービスを経験する。
6. 介護保険、医療保険との役割分担を説明できる。

方略：

1. 近隣の医療機関に赴き、訪問診療・看護・リハビリ・薬剤指導の実際を見学する。
2. 在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所などの業務を見る中で、医療機関との連携の実態を知る。

ユニット③ 地域医療機関における多職種連携・チーム医療に関する実習

担当教員：井口清太郎、金子昌弘、今西 明、永井明日香

協力施設：近隣の医療機関、在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、他

到達目標：

地域医療を支える医療福祉施設における多職種連携の実際を把握するために、医療だけでなく介護・福祉分野に関わる多職種との連携の様子を知り、それら職種の役割や重要性を理解する。

アウトカム：

1. 地域医療機関に関わる医療・介護職について説明できる。
2. 近隣の医療機関と地域行政機関や福祉関係諸機関に勤務する医療・介護職について説明できる。
3. 地域医療機関における多職種連携・チーム医療について説明できる。
4. 地域包括ケアシステムにおける多職種の役割について説明できる。
5. 医療・介護職によるチーム医療の実際を経験する。

方略：

1. 地域の医療・介護施設に赴き、多職種連携・チーム医療の実際を見学する。
2. 担当患者の主治医意見書を作成する中で、医療・介護職によるチーム医療を理解する。
3. 地域医療機関と介護施設において有機的に実習を行うことで、それぞれの施設が持つ役割、機能を理解する。

ユニット④ 地域包括ケアシステムに関する実習

担当教員：井口清太郎、金子昌弘、今西 明、永井明日香

協力施設：魚沼市立小出病院、湯沢町保健医療センター、南魚沼市民病院、町立津南病院、近隣の在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、他

到達目標：

地域において医師としての役割を果たすために地域医療構想や地域包括ケアシステムについて理解し、地域包括ケアシステムを実践するために必要な知識と基本的な技術・態度を修得する。

アウトカム：

1. 地域医療構想、地域包括ケアシステムについて説明できる。
2. 地域の医療状況（生活背景、疾病構造など）について説明できる。
3. 地域における行政、医療、介護の連携について説明できる。
4. 地域包括ケアシステムの活動に参加する。
5. 介護保険の仕組みを説明できる。

方略：

1. 医療と介護の連携実習を行う。
2. 地域医療構想に関わる会議に出席する。
3. 地域包括ケアシステムが運用されている現場で実習を行う。
4. 担当患者の主治医意見書を作成する。

令和6・7年度

臨床実習Ⅱの手引き

医学科5・6年次学生用

コース「臨床実習Ⅱ」(必修)

学習の条件：

臨床実習Ⅰ（25コース、42週間）と症候学講義を終了した者。

※臨床実習期間：令和7年1月14日（火）～8月1日（金）

曜日：月曜日～金曜日 時間：8時30分～16時20分

第1クール：令和7年1月14日（火）～2月7日（金）

第2クール：令和7年2月10日（月）～3月7日（金）

第3クール：令和7年4月7日（月）～5月2日（金）

第4クール：令和7年5月12日（月）～6月6日（金）

第5クール：令和7年6月9日（月）～7月4日（金）

第6クール：令和7年7月7日（月）～8月1日（金）

科目の概要：

翌年医師として全人的医療を実践し「医学を通して人類の幸福に貢献する」ために必要な、科学的姿勢、コミュニケーション能力、人間性、社会性などの医に求められるプロフェッショナリズムを十分に身につける。

科目のねらい：

主として、患者と接する医療現場において、患者、医師、他職種医療スタッフとのコミュニケーション能力、身体診察法、臨床推論、問題解決、治療計画、プレゼンテーションなどの基本的臨床技能と態度を修得する。

コース：

4週間を1クールとし、6クールを必修とする。

- 1群学内（循環器内科、血液内科、内分泌・代謝内科、呼吸器・感染症内科、腎・膠原病内科、消化器内科、脳神経内科、腫瘍内科、地域医療確保・地域医療課題解決支援講座 地域医療分野）を1クール
- 1群学外臨床教育協力施設を1クール
- 2群学内（消化器・乳腺内分泌外科、小児外科、心臓血管外科・呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、泌尿器科、耳鼻咽喉・頭頸部外科）を1クール
- 2群学外臨床教育協力施設を1クール
- 3群学内（皮膚科、眼科、麻酔科、救急科、放射線治療科・放射線診断科、病理部・病理診断科、小児科、産科婦人科、精神科、リハビリテーション科）を1クール
- 3群学外臨床教育協力施設を1クール

※学外実習の1つのクールにおいて、希望する場合は「総合診療コース」を選択可能。

※学内実習の1つのクールにおいて、希望する場合は「社会医学コース」を選択可能

合計6クール24週間履修するものとする。

実習施設は、本学医歯学総合病院並びに学外臨床教育協力施設とする。実習先の希望調査にもとづき、割り振りを行う。本学医歯学総合病院3クール、学外臨床教育協力施設3クールをそれぞれ交互にローテーションする。

学習の到達目標 :

1. 医学科生として、下記の〔注意事項〕を遵守し、医師となる自覚を持って行動できる。
2. 適切で、患者に信頼される医療面接ができる。
3. 患者に不快感を与えることなく、必要な身体診察を行い、所見を説明できる。
4. 医師一般に必要な基本的臨床手技の適応、準備、手順、合併症を説明し、自ら実施できる。
5. 選択した診療科・病院の医療上の役割と医師の業務について理解を深める。
6. 実習期間中、毎日のふりかえり、経験した症候・症例をe-ポートフォリオに記載し、指導者からのフィードバックを確認できる。

〔注意事項〕

1. 社会人としての礼儀、挨拶、身だしなみ、時間厳守、協調、物品を大切に扱う、などの常識を自ら進んで遂行する。
2. 病院の職員に準じて、患者の権利の擁護、守秘義務、患者の気持ちに配慮した思いやりの心と行動に心がける。
3. 当該病院の種々の管理規定や安全のためのマニュアルを遵守し、当該スタッフの指示を守って行動する。
4. 原則として公共機関を利用し、交通事故の回避に心がける。
5. 「学研災付帯学生生活総合保険」への加入が実習の条件となるので、開始前に加入する。
6. 実習開始前に必ず健康診断を受け、異常があれば医学科入試・臨床実習係に報告相談する。

〔到達目標2, 3, 4の学習内容〕

4週間6クール全体での目標として：

医療面接の学習には

態度・マナー、会話技術、情報収集力、信頼関係の形成、診療録の記録が含まれる。

身体診察の学習には

態度・マナー、身体診察技術（バイタルサイン、頭頸部、胸部、腹部、四肢・脊柱・神経系）、臨床推論、患者への配慮、診療録（電子カルテ）の記載が含まれる。

基本的臨床手技の学習には

採血、手洗い・清潔操作、ガウンテクニック、消毒・ガーゼ交換、皮膚縫合、採血、尿道カテーテル挿入・抜去は必須であり、更に、尿検査、血液塗沫標本検査、微生物学的検査（Gram染色含む）、心電図検査、超音波検査はできるだけ経験する。

実習実施形態について :

1. 実習では医師に準じ、主治医（チーム）の一員として行動するなかで、医師としての在り方を学習するのが基本である。
2. 自ら希望する学習を具体的に指導担当医師に伝え、実習の場を提供されたことで、積極的な学習が可能である。
3. 多忙な指導担当医師でも、学生の熱意が伝われば必ず応えて頂けると信じて行動する。
4. レクチャー、カンファレンス、発表会などに積極的に参加するとともに、教科書、図書、インターネットなどを利用した学習にも心がける。
5. 医療面接や診察に際しては、特に礼儀、手順の説明、不安や不快感を与えない配慮、良好な人間関係の樹立に心がける。
6. 基本的臨床手技の実習は、診療現場と状況で異なるので、指導担当医師の指示をよく聞くとともに、予めよく準備や練習をして臨むことに心がける。手技とともに、患者や医療従事者への態度・マナーに注意を払う。

成績評価の方法と基準 :

成績は指導医師の観察評価などにもとづき、学務委員会で判定する。

評価の対象は： 臨床実習およびPost-CC OSCE で実施する

1. 欠席と遅刻の頻度とその連絡
2. 身だしなみ、礼儀、協調性など
3. 患者やスタッフへの態度・マナー
4. 面接・診察・手技の技能と態度
5. 知識と問題解決能力・伝達能力 である。

1コースでも不合格の場合、臨床実習ⅡA（7単位）、ⅡB（15単位）は、獲得できない。

令和7年9月2日、3日に医学系診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験（臨床実習後OSCE、Post-Clinical Clerkship Objective Structured Clinical Examination；Post-CC OSCE）を実施する予定である。

OSCEでは、以下の6課題を実施するので、臨床実習2において知識、技能、態度を十分に修得しておくよう。

1. 医療面接+身体診察+臨床推論+プレゼンテーション（16分）3課題
2. 基本的臨床手技：採血、縫合、尿道カテーテル挿入のうち1課題
3. カルテ記載 1課題
4. 患者に対する病状説明、健康教育など：禁煙指導、健診異常における健康教育、退院時の指導などのうち1課題

平成29年度から卒業時に必要な知識、技能、態度を評価するPost-CC OSCEの合格を臨床実習ⅡBの修了要件としている。

臨床教育協力施設

1.	新潟市民病院	135
2.	県立がんセンター新潟病院	147
3.	済生会新潟病院	154
4.	信楽園病院	159
5.	新潟中央病院	163
6.	県立新発田病院	164
7.	長岡赤十字病院	171
8.	厚生連長岡中央総合病院	188
9.	立川総合病院	192
10.	県立中央病院	198
11.	厚生連佐渡総合病院	204
12.	県立十日町病院	206
13.	国立病院機構西新潟中央病院	208
14.	厚生連上越総合病院	212
15.	厚生連村上総合病院	218
16.	済生会三条病院	221
17.	下越病院	222
18.	鶴岡市立荘内病院	224
19.	厚生連新潟医療センター	226
20.	新潟臨港病院	230
21.	魚沼基幹病院	233
22.	県立精神医療センター	241
23.	木戸病院	242
24.	厚生連糸魚川総合病院	244
25.	あがの市民病院	245
26.	厚生連柏崎総合医療センター	246
27.	長野赤十字病院	254
28.	水戸済生会総合病院	255
29.	済生会川口総合病院	256
30.	県立リウマチセンター	258
31.	済生会新潟県央基幹病院	259

医看第277号
令和7年8月18日

厚生労働省医政局長 殿

新潟県福祉保健部長 中村 洋心

地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和7年8月5日付け7文科高第666号、医政発0805第5号に基づき、下記のとおり、令和8年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。
地域の医師確保等に関する計画、都道府県計画等に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

増員数

77名

- ・新潟大学医学部における地域枠 : 40名
- ・順天堂大学医学部における地域枠 : 1名
- ・昭和医科大学医学部における地域枠 : 7名
- ・東邦大学医学部における地域枠 : 8名
- ・東京医科大学医学部における地域枠 : 3名
- ・杏林大学医学部における地域枠 : 4名
- ・北里大学医学部における地域枠 : 3名
- ・日本医科大学医学部における地域枠 : 2名
- ・日本大学医学部における地域枠 : 4名
- ・獨協医科大学医学部における地域枠 : 2名
- ・帝京大学医学部における地域枠 : 1名
- ・金沢医科大学医学部における地域枠 : 2名

